

2022 年度事業報告

(2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)

I. 概要

1 総括

2022 年度は、情報通信分野における標準化の推進と情報通信ネットワークの発展への引き続きの貢献のため、情報通信ネットワークに係る標準の作成、調査、普及等の活動を行った。また、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的流行や、デジタルトランスフォーメーション(DX: Digital Transformation)の普及による情報通信技術(ICT: Information and Communication Technology)の活用の広がり等の社会変化に対応するため、業分野での活動や他団体等との連携・協力活動に注力し、標準の作成にとどまらない戦略的な標準化活動に取り組んだ。

2 組織

2022年度の組織構成は表 1 の通り。

表 1 組織

総会	TTC の正会員によって構成し、役員を選任、当該年度の貸借対照表、正味財産増減計算書の承認、定款の変更等を決定する。
理事会	TTC の役員で構成し、TTC の業務執行に関わる決定を行う。
評議会	標準の作成手続きを審査するほか、理事会が必要と認めた重要な事項について理事会の諮問に応じる。
表彰選考委員会	情報通信技術賞(総務大臣表彰、TTC 会長表彰)の候補者の選考を行い理事会に報告する。
事務局	TTC の円滑な業務遂行を支援する。
業際イノベーション本部	ICT 分野の活性化に資する業際的なイノベーションに関する動向調査、課題の発掘並びに戦略の検討を行う。
IPR 委員会	TTC 標準に係わる IPR に関する基本指針の制定、改定案の作成とそれらの理事会への付議、関連標準化機関等との IPR 分野における連携、国内外における IPR の動向に関する調査・研究等を行う。
標準化会議	情報通信ネットワークに係る標準の審議、情報通信ネットワークに係る調査及び研究等を行う。専門委員会で作成した標準案に対し、標準化会議委員が投票を行い提案の標準案の採否が決定

	される。
専門委員会	標準化活動を行う母体で、最新技術分野・テーマについて情報収集が議論の場を設けている。
企画戦略委員会	TTC の中期標準化戦略の策定、重点課題の設定、専門委員会の統廃合、および標準化団体との国際連携活動等、TTC の将来的な標準化活動戦略を立案する。
アドバイザリーグループ	重点課題を検討するための組織で技術調査と国際連携の2つのグループがある。

II. 事業報告

1 企画戦略

1.1 企画戦略委員会

1.1.1 会合開催状況

企画戦略委員会は、第 158 回から第 166 回の計 9 回の会議を実施した。2023 年 1 月に開催した拡大形式の企画戦略委員会では、専門委員会の正副委員長およびアドバイザーグループ(AG: Advisory Group)のリーダーサブリーダー参加のもと拡大形式にて 2023 年度中期標準化戦略案の審議を行った。(別紙 1)

表 2 企画戦略委員会の開催状況

開催回	開催日	主な議題
第 158 回	2022/4/14	功労賞選考、2022 年度企画戦略委員会活動計画
第 159 回	2022/5/30	新興技術動向および国際標準化動向等の情報共有及び今後の対応審議、標準化会議予定
第 160 回	2022/6/23	新興技術動向および国際標準化動向等を踏まえた今後の活動審議
第 161 回	2022/7/21	各担当専門委員会・AGの活動状況共有
第 162 回	2022/9/16	専門委員会の活動状況共有を踏まえた今後の活動審議
第 163 回	2022/10/31	2022年度計画に対する上期成果振り返り・下期計画
第 164 回	2022/11/21	中期標準化戦略フォーマット案、2023 年度事業計画トピックス案
第 165 回	2022/12/22	フォーラム調査2022中間報告、2023年事業計画案
第 166 回	2023/1/26 (拡大形式)	2023年度事業計画(案)、専門委員会・AGの中期標準化戦略(2023年度)(案)、専門委員会活動状況の取りまとめ結果と今後の対応について

1.1.2 主な活動成果

- ・ 情報規格調査会との連絡会を実施(2022 年 6 月、2023 年 1 月)。連絡会での意見交換結果等を踏まえ、両組織での共通課題であり社会的に関心の高い BMI (Brain Machine Interface) をテーマとしたセミナーを共催にて開催した。(2023 年 1 月)
- ・ 専門委員会へのヒアリング結果等を踏まえ、新興技術等専門委員会で未対応の分野に対し、企画戦略委員会で調査、今後の対応方針を策定した。
- ・ 共通テーマに関する専門委員長間の意見交換機会の設定および抽出された課題への対応として、AI 活用専門委員会と他専門委員会(マルチメディア応用、企業 NW、網管理、IoT エリア NW、3GPP、移動通信網マネジメント、セキュリティ、伝送網・電磁環境、アクセス網)との連携に関する意見交換会(2022/5/19)、ITU-TSG16(マルチメディア応

用)、SG20(IoT・スマートシティ)での新興技術に関する国際動向についての意見交換会(2022/5/20)を実施。

- ・ 標準化に関わる人材の育成や標準化教育、標準化活動の質の向上に向けた組織横断での検討会として企画戦略委員会の下に新たにキャパシティビルディングアドバイザリーグループを設置することを決定。(2022/12)

1.2 アドバイザリーグループ

1.2.1 技術調査アドバイザリーグループ

戦略的な標準化活動実現のため、海外の主要なフォーラム標準化活動の最新動向を調査、分析し、調査結果を「TTC フォーラム調査報告書(第 29 版)」として展開。企画戦略委員との連携を意識したデジタルツイン関連の Digital Twin Consortium、量子関連の OpenQKD、通信拡張関連の OpenXR を新たに調査対象とし、また、コネクテッドカー専門委員会から要望があったデータの標準化を進めている GAIA-X, Catena-X も調査対象とした。

表 3 TTC フォーラム調査報告書(第 29 版)概要

対象フォーラム	71(調査終了 6, 新規 7)
注目分野	①IoT・スマートシティ ②5G ③コネクテッド・カー ④SDN/NFV ⑤AI・ビッグデータ
広報活動	企画戦略委員会および専門委員会に展開 ホームページ 1/18 公開、TTC レポート(2023 年 4 月号)掲載

1.2.2 国際連携アドバイザリーグループ

- ・ ITU-T TSAG(電気通信標準化アドバイザリーグループ)第 1 回会合(12 月)における寄書提出、並びに対処方針審議等国内議論を推進。TSAG の新体制発足、FG-Metaverse の設立(関連する SG が多岐にわたることから TSAG 配下)等の主なトピックスについて TTC レポート等を通じて国内にフィードバック。
- ・ NTT 菊地 能直 氏、日立製作所 三宅 滋 氏による TTC 大使報告会を実施(2/10)し、TTC 会員に各種国際動向を周知・報告。

2 標準化活動

2.1 標準化会議

2.1.1 会議開催状況

標準化会議は、第 136 回から第 140 回の計 5 回の会議を実施した。第 136 回、第 139 回は電子投票にて標準の制改定手続きを行ったが、第 137 回、第 138 回は提出された標準案(新規、改定、廃止)は無かったため、中止となった。第 140 回は集会形式にて各専門委員会

の 2023 年度中期標準化戦略を承認した。

表 4 標準化会議の開催状況

開催回	開催形式	開催日
第 136 回	投票	2022/3/4-5/19
第 137 回	中止	
第 138 回	中止	
第 139 回	投票	2022/12/2-2023/2/16
第 140 回	集会(オンライン)	2023/2/17

2.1.2 主な活動成果

- ・ 世界貿易機関(WTO)の TBT 協定(Agreement on Technical Barriers to Trade)を尊重し、標準案リストの Web 公開、標準案の提示から決定までの期間を 60 日間確保するなど公正性、中立性、透明性を配慮した標準の制改定手続きを行い、当年度は 6 件の標準制定、7 件の標準改定を実施。(別紙 2)
- ・ 2023 年 2 月 17 日に開催した第 140 回標準化会議で、各専門委員会の 2023 年度中期標準化戦略を承認。

2.2 専門委員会

2.2.1 構成

2022 年度は5つの部門、18 の専門委員会の構成で標準化活動を行った。(別紙 3) Network Vision 専門委員会の下に設置されていたクラウド SWG は、設置当初の目的を果たしたため活動を終了(2022 年 6 月)。マルチメディア応用専門委員会の下に設置されていた IPTV SWG は効率的な会合運営のため、同じくマルチメディア応用専門委員会の下に設定されている ILE SWG に併合(2022 年 9 月)。企業ネットワーク専門委員会の下に設置されていた CT/IF SWG は、役割を完了したため、活動を終了(2022 年 12 月)。

3GPP2 の活動状況を踏まえ 2021 年度に3GPP2 SWG の活動を終了。3GPP2 から退会(2022 年 6 月)。

表 5 専門委員会の構成

部門	専門委員会	統廃合状況
ICT 活用 アプリケーション	マルチメディア応用専門委員会	継続
	IPTV SWG	併合
	電子情報健康管理 SWG(e-health-swg)	継続
	アクセシビリティ SWG	
	メディア符号化・通信 SWG	
	ILE-SWG	

		マシンビジョン SWG	
		コネクテッド・カー専門委員会	継続
		BSG 専門委員会	継続
		IoT・スマートシティ専門委員会	継続
		ICTと気候変動 SWG	
プラットフォーム		AI活用専門委員会	継続
		oneM2M 専門委員会	継続
		セキュリティ専門委員会	継続
		企業ネットワーク専門委員会	継続
		企業網インタフェース SWG	
		CTI/F SWG	廃止
		消防指令システム SWG	継続
プロトコル・ NW 管理・品質		信号制御専門委員会	継続
		SIP SWG	
		NGN 信号アップストリーム SWG	
		網管理専門委員会	継続
		通信ネットワーク運用管理 SWG	
		通信サービス品質評価 SWG	
	番号計画専門委員会	継続	
アーキテクチャー		Network Vision 専門委員会	継続
		NGN アップストリーム SWG	
		QoS アーキテクチャ SWG	
		クラウド SWG	
		NetSoft SWG	継続
		3GPP 専門委員会	継続
		サービス・システムアспект SWG	
		コアネットワーク SWG	
		無線アクセスネットワーク SWG	
	移動通信網マネジメント専門委員会	継続	
トランスポート・ アクセス・エリア NW		IoT エリアネットワーク専門委員会	継続
		通信インタフェース SWG	
		サービスプラットフォーム SWG	
		伝送網・電磁環境専門委員会	継続
		装置機能・管理 SWG	
		多重分離インタフェースと網同期 SWG	

	情報通信装置の EMC・ソフトエラー SWG	
	アクセス網専門委員会	継続
	次世代光アクセス網 SWG	
	ハイブリッドアクセス網 SWG	
	光ファイバ伝送専門委員会	継続
	光ファイバシステム SWG	
	光ファイバファイバケーブル SWG	

2.2.2 会合開催状況

COVID-19 の世界的流行下で、一部会合の見送りや計画の見直し等が発生しているが、オンラインの運営で、取り組みの進捗に大きな影響や課題は発生していない。感染症拡大防止を目的とした完全オンラインでの各種活動を、会合目的等に応じ、対面とオンラインを組み合わせたハイブリッド形式に徐々に移行。ハイブリッド会合時の課題・要望を専門委員会等にヒアリングし、効果的な会合運営環境等の整備を継続。

表 6 専門委員会・サブワーキンググループ(SWG)・アドホックグループ(AHG)の会合開催状況

専門委員会・SWG・AHG	回数
マルチメディア応用専門委員会	1
マルチメディア応用専門委員会 IPTV-SWG	1
マルチメディア応用専門委員会 電子情報健康管理 SWG(メール審議)	1
マルチメディア応用専門委員会 アクセンビリティ SWG(メール審議)	1
マルチメディア応用専門委員会 メディア符号化・通信 SWG	1
マルチメディア応用専門委員会 ILE SWG	1
マルチメディア応用専門委員会 マシンビジョン SWG	10
コネクテッド・カー専門委員会	14
BSG 専門委員会	11
IoT・スマートシティ専門委員会	5
IoT・スマートシティ専門委員会 ICT と気候変動 SWG	1
AI 活用専門委員会	7
AI 活用専門委員会(メール審議)	1
oneM2M 専門委員会	5
セキュリティ専門委員会	5
企業ネットワーク専門委員会	11
企業ネットワーク専門委員会 企業網インタフェース SWG	10

企業ネットワーク専門委員会 消防指令システム SWG	2
企業ネットワーク専門委員会 消防指令システム SWG 作業班	6
信号制御専門委員会(メール審議)	2
信号制御専門委員会 SIP SWG	7
信号制御専門委員会 NGN 信号アップストリーム SWG(メール審議)	1
網管理専門委員会 通信ネットワーク運用管理 SWG	4
網管理専門委員会 通信サービス品質評価 SWG	4
番号計画専門委員会	5
Network Vision 専門委員会 NGN アップストリーム SWG	5
Network Vision 専門委員会 NGN アップストリーム SWG(メール審議)	2
移動通信網マネジメント専門委員会	2
3GPP 専門委員会	4
IoT エリアネットワーク専門委員会	11
IoT エリアネットワーク専門委員会 サービスプラットフォーム SWG	11
IoT エリアネットワーク専門委員会 通信インタフェース SWG	11
伝送網・電磁環境専門委員会 装置機能・管理 SWG	6
伝送網・電磁環境専門委員会 多重分離インタフェースと網同期 SWG	2
光ファイバ伝送専門委員会	2
光ファイバ伝送専門委員会 光ファイバケーブル SWG	1
光ファイバ伝送専門委員会 光ファイバシステム SWG	5
アクセス網専門委員会	2
アクセス網専門委員会 次世代光アクセス網 SWG	5
ITU-T FG AN 対応 AHG	5

2.2.3 主な活動成果

- ・ 18 の専門委員会で標準化動向・新規標準化課題の調査、国際標準化機関への提案、TTC ドキュメントを作成(標準・仕様書・技術レポート・調査報告書)。
- ・ 2022 年度の目標達成状況を含む 2023 年度中期標準化戦略を策定し、企画戦略委員会および標準化会議で承認(別紙 4)。
- ・ ITU-T の各スタディグループ(SG: Study Group)における標準勧告の制定や FG における新規課題の発掘に貢献するため提出した寄書数や、TTC 標準等の制改定数は下表のとおり。oneM2M や 3GPP への提案は、各パートナーシッププロジェクトに参加する TTC 会員より提案。

表 7 寄書・標準等制改定数

	2020 年度	2021 年度	2022 年度
寄書数	96	108	104
最も貢献した 専門委員会(数)	伝送網・電磁環境 (21)	伝送網・電磁環境 (31)	セキュリティ (25)
TTC 標準 制改定	25	16	13
仕様書制改定	1,256	707	1,414
内 3GPP	1,252	704	1,389
技術レポート 制改定	43	10	75
内 3GPP	40	1	55

- ・ 詳細は別紙 5-1,5-2,5-3 を参照のこと。

2.3 IPR 委員会

TTC 会員からの IPR ポリシーに関する問い合わせに対応するとともに、3GPP 関連の IPR 宣言・特許開示に関する TTC 会員からの通知について関連専門委員会への報告を実施。

3 業際イノベーション

3.1 業際イノベーションワーキングパーティ

分野横断的な活動として業際イノベーションワーキングパーティ(WP)を推進。以下の活動を実施。

- ・ 高精細映像データ医療応用研究会
 - ・ 8K内視鏡などの医療用高精細画像の色彩情報に関する標準化(ITU-T への寄書提案)を目指し検討を継続実施
 - ・ 一般社団法人メディカル・イノベーション・コンソーシアム、内視鏡・映像関係企業、放送関係者が参加し、議論の成果を ITU-T に提案に向けて検討を継続実施
 - ・ 2022年度は、会合を5回開催
- ・ BHQ (Brain Healthcare Quotient)
 - ・ 脳の健康の維持・向上に向け、脳の MRI 画像をベースに脳健康状態を表す単位として開発された BHQ(Brain Healthcare Quotient) に関する情報交換、利活用事例の調査研究、実証実験、普及展開などを継続実施中
 - ・ ITU-T SG16 における脳情報プラットフォーム(勧告化完了)のユースケース検討などでの連携
 - ・ 家電、食品、医療機器、日用品メーカーなどの BHQ コンソーシアム会員企業が参加
 - ・ 2022年度は、会合を4回開催

- ・ 健康・医療 IoT
 - ・ ヘルスケアに関する議論の場として 2023 年 2 月に新規設立
 - ・ ECHONET と Continua Health Guideline などの相互運用性の要求条件および実装等に関する情報交換、調査研究
 - ・ 2022年度は、3/17 に第 1 回の会合を実施
- ・ メタバース標準化推進連絡会
 - ・ メタバースに関する議論の場として 2023 年 2 月に新規設立
 - ・ 様々な標準化団体の情報が集まり情報の共有を行う場を作り、ITU-T FG-metaverse 等の会議の情報の共有や日本からの提案の事前検討を行い、今後のメタバースの標準化・普及を推進
 - ・ 2022 年度は 3/2、3/22 の 2 回の会合を実施

3.2 スマート IoT 推進フォーラム

IoT・ビッグデータ(BD)・人工知能(AI)等の技術の発展により、グローバルに、あらゆる分野で、その産業・社会構造が大きく変革しつつあることを踏まえ、IoT 等に関する技術の開発・実証を推進するなど、産学官を挙げて新たな時代の変化に挑戦することを目的として 2015 年 10 月に設立された「IoT 推進コンソーシアム」の下に、IoT 関係の技術開発・実証を推進する技術開発ワーキング・グループとして設置されたフォーラム「スマート IoT 推進フォーラム」の事務局運営支援として以下活動を実施。

技術・標準化分科会

- ・ IoT 通信技術に関する国内外の動向把握と技術・標準戦略、普及展開戦略の検討等を実施。
- ・ 2022年度は、分科会会合を 11 回開催
3 つのタスクフォースにて、IoT 情報モデルの検討、エリアネットワーク運用管理規定の検討、センサ情報を使用したインフラ構造物の維持管理に関する検討を推進中。

テストベッド分科会

- ・ IoT・ビッグデータ(BD)・人工知能(AI)等に関する、技術実証・社会実証を促進するテストベッドの要件とその利活用促進策の検討を行うことを目的とし、分科会、コアメンバー会議、各種検討会にて活動。
- ・ 2022年度は、分科会会合を 2 回開催
データ分・析可視化タスクフォースに加えユーザ連携・循環進化検討タスクフォースを新たに立ち上げ、テストベッドの利用者連携促進、5G の研究開発促進を推進中。

IoT 価値創造推進チーム

- ・ 各部会・分科会等の活動状況を踏まえた組織横断的な取組みの推進、及び会員向けサービス拡充に向けた取組みの推進。

- ・ 2022年度は、チーム会合を1回開催
主な実績は、IoT導入事例紹介(13件)、IoT先進企業訪問記配信(11件)、
会員向け情報発信(32件)、会員イベント後援等(4件)。

4 他団体等との連携・協力

4.1 国際

国際連携アドバイザリーグループを中心に、他の国際標準化機関・団体等との協力、連携強化のための活動を実施した。また ITU-T TSAG への対処方針の策定において中心的な役割を果たした。

4.1.1 ASTAP(Asia-Pacific Telecommunity Standardization Program)第34回会合

- ・ 岩田専務理事が、副議長として、Industry・Standardization Workshop 企画・実施
- ・ ASTAP 活動の活性化に向けたアドホック G 議長就任(TTC 事務局: 眞野)

4.1.2 APT (Asia-Pacific Telecommunity) WTSA 準備会合

- ・ 岩田専務理事が副議長として、4月に開催される第1回 APT WTSA 準備会合に向けた体制構築について各種調整を実施

4.1.3 TSAG 第1回会合

- ・ NEC 永沼氏(TTC TSAG TF リーダ)が TSAG 副議長および RG-WPR のラポータに選任され、ITU-T 次会期に向けた SG 再編アクションプランの議論およびとりまとめをリード
- ・ メタバースに関する FG 設立に向けた日本寄書提出、並びに国内議論を推進

4.1.4 3GPP および oneM2M パートナーシッププロジェクト

- ・ 3GPP FFG 議長(TTC 事務局: 中村)/ oneM2M FC 議長(TTC 事務局: 山田)を務め、両パートナーシッププロジェクトの円滑な運営に貢献

4.2 国内

産業や技術分野を横断した取り組みが欠かせない協調領域において、産学官の橋渡し役として標準化活動を推進し、日本の産業の国際競争力強化に貢献することを目的に活動。限られた国内リソースの効率的な活用及び国内一体での標準化活動の推進のため、ITU と ISO/IEC JTC 1 とのリエゾン等の国際標準化団体間の連携を国内標準化団体間でも取り入れた活動を推進した。他団体等との連携成果や意見交換の場として共催セミナーを開催。2022年度は計6団体との共催セミナーを実施した。

主な連携活動事例を以下に挙げる。

- ・ Beyond5G 推進活動

「Beyond5G 推進戦略」(2020年6月総務省)推進を目的に2020年12月に設立された Beyond5G 推進コンソーシアムおよび Beyond5G 新経営戦略センターに、委

員として参画。Beyond5G 実現に向けた提言等を実施。Beyond5G 推進コンソーシアム国際カンファレンス(2022/10/25)にて、自律性 WG の取り組み等を紹介。

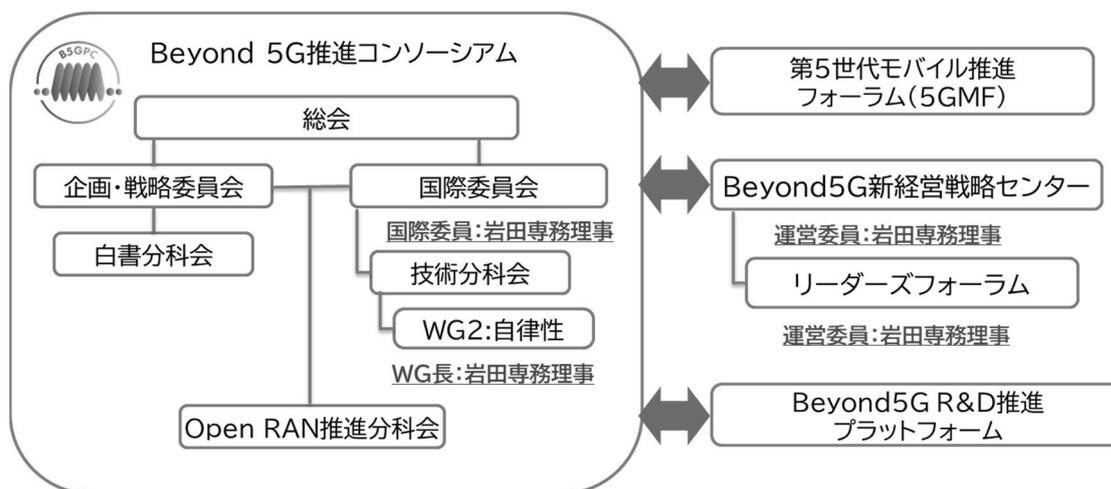


図 1 Beyond5G 推進活動

- ・ 情報処理学会、情報規格調査会
標準化エリアがITU、JTC1の枠組みを越えた上位レイヤに移るトレンドの中で、情報処理と情報通信ネットワークに関わる国内標準化団体の取組について、双方の国内審議団体間の戦略決定レベルの交流を通して、標準化課題の共通認識合わせや重複作業の回避を行い、国内および国際標準化における効率的な活動を促進することを目的に、2022年6月および2023年1月に情報規格調査会との連絡会(第9、10回)を開催。セキュリティ、IoT、スマートシティ、AIや新興技術として量子情報通信やDigital Twin、Metaverse等、JTC1、ITU共通テーマに関する情報共有・意見交換を実施。連絡会での議論結果等をもとに、情報処理学会、情報規格調査会とともにBMIをテーマとしたセミナーの共催を実現(2023年1月)。
- ・ 量子ICTフォーラム
2020年4月に協力関係に関する覚書を締結。ITU-T、ETSI(European Telecommunications Standards Institute)、ISO/IEC JTC1等での量子暗号の国際標準化活動で連携。2022年10月に、NICT(量子セキュリティ拠点)、量子ICTフォーラム共催量子セキュリティ合同シンポジウム「量子が拓く未来の産業」を開催。
- ・ 日本インダストリアルイメージング協会(JIIA)
情報通信技術の各種産業での活用において、重要度を増している画像/ビデオによる視覚検査・欠陥検出、位置調整・測定、製品の識別・分類・追跡等マシンビジョン(Machine vision)技術の国際標準化および普及の推進を目的にJIIA(一般社団法人日本インダストリアルイメージング協会)とマシンビジョンSWGを設立(2021年4月)。G3(JIIA=

日本、A3＝北米、VDMA＝ドイツ、EMVA＝欧州、CMVU＝中国)のマシンビジョン業界加盟各社の開発技術者が一堂に会して、業界の技術標準化を議論し、規格書作成、実証、審議する国際会議 International Vision Standard Meeting(IVSM)を TTC 会議室およびオンラインでハイブリッド開催(2022/9/26-30)。

国内最大・最先端のマシンビジョンが集う「国際画像機器展」にて JIIA との連携活動紹介等講演(2022/12/8)。

- ・ 情報通信ネットワーク産業協会(CIAJ)、HATS 推進フォーラム
情報通信ネットワーク産業協会(CIAJ)と共同で、コネクテッド・カー技術を災害時に利用した情報通信システム(V-HUB)の利活用に向けたガイドラインを作成。ガイドラインの概要を紹介するセミナー「災害時の自動車を用いた情報通信システムと防災訓練」を 2022 年 6 月 28 日に CIAJ と共催。
- ・ World Wide Web Consortium(W3C) 、 Internet Engineering Task Force(IETF)
2023 年 1 月に Web ベースのデジタルツイン標準化、最新技術動向をテーマに共催セミナーを実施。

5 調査

デジュール及びフォーラム標準に関する標準化活動の強化に資する調査等(総務省からの請負)を以下の内容で実施。

- ・ ITU-T、APT の標準化活動について WTSA、TSAG、ASTAP 等の会合に参加して調査を行うとともに、ITU-T の SG、FG 活動を分析し、標準化活動の在り方を提言。また、標準化教育テキストの更新、標準化人材育成セミナーを実施(6 人材育成を参照)。
- ・ 上記以外のデジュール／フォーラム標準化機関・団体に関する調査として、6 つの標準化機関・団体(IEEE-SA、IETF、IOWN GF、HAPS、O-RAN、W3C)を選び、各団体のホームページの記載内容を基に、各種情報(目的、対象分野、構成、会員・会費等)を調査。
- ・ 前年度に公募で選定した調査者(7者)を通じて、IETF、ITU-T SG16、3GPP、Next G Alliance における標準化動向の調査を実施するとともに、これら調査者が報告を行う外部向けセミナー(ICT ビジネス戦略オンラインセミナー、オンライン形式)を 2 回開催(2023 年 2 月)。また、2023 年度の調査者を公募し、有識者による評価(順位付け)を行ったうえで 8 者を選定。
- ・ 国際標準化の強化に関する支援活動の一環として、業際イノベーションワーキングパーティ(WP)の活動を支援(3.1 業際イノベーションワーキングパーティを参照)。

6 人材育成

- ・ 標準化活動初心者には有益な教育ツール提供を目的として、標準化ノウハウを蓄積した手引書の継続的更新と標準化テキストを活用した人材育成プログラムを継続して実施。

- 2023年1月に標準化人材育成オンラインセミナー「国際標準化活動の最新動向」を開催。
- 5Gネットワークを含む将来ネットワークにおけるAI/ML(人工知能/機械学習)の適用方法を検討する国際的なコンテストの第3回ITU AI/ML in 5G Challengeが開催。日本ラウンドの後援および受賞者発表会をRISING研究会と共催で実施(2022年11月)。FG-ML5Gの成果物をベースに作成されたAI/ML関連勧告の有効性検証と新たな標準化検討の方向性を推進支援する機会を提供。
- 2021年度より継続して3GPP専門委員会、移動通信網マネジメント専門委員会合同勉強会を実施。委員の知識・技術向上に資すると共に、若手標準化人材の活動人脈づくりを促進。

7 普及・広報

7.1 TTC標準・仕様書等の発行

- 2022年度のTTC標準類ダウンロード数は85,476件で昨年より減少。
- 専門委員会別では信号制御専門委員会がもっとも多く、伝送網・電磁環境専門委員会、マルチメディア応用専門委員会が続くが、いずれも過去2年のダウンロード数より減少。

表 8 TTC標準類ダウンロード数

	2020年度	2021年度	2022年度
累計	131,163	115,095	85,476
TOP20合計	41,965	32,373	28,874
月平均	10,930	9,591	7,123
専門委員会別 TOP3	信号制御 (31,756)	信号制御 (26,220)	信号制御 (21,898)
	伝送網・電磁環境 (24,392)	伝送網・電磁環境 (20,937)	伝送網・電磁環境 (17,770)
	3GPP (13,254)	3GPP (20,615)	マルチメディア応用 (8,314)

詳細は別紙6を参照のこと。

7.2 セミナーの開催

セミナーを専門委員会等での活動成果報告等の普及活動の他、新たなテーマの発掘、活動者の呼び込みとして活用。また他組織連携や会員へのサービス向上等の関係強化として開催。2022年度は全18回のセミナー実施。最も参加人数の多いセミナーで772名が参加。1回あたりの平均参加人数は236名と過去最高を更新し、TTCの活動の普及に貢献。

表 9 セミナー等実施回数と参加者の推移

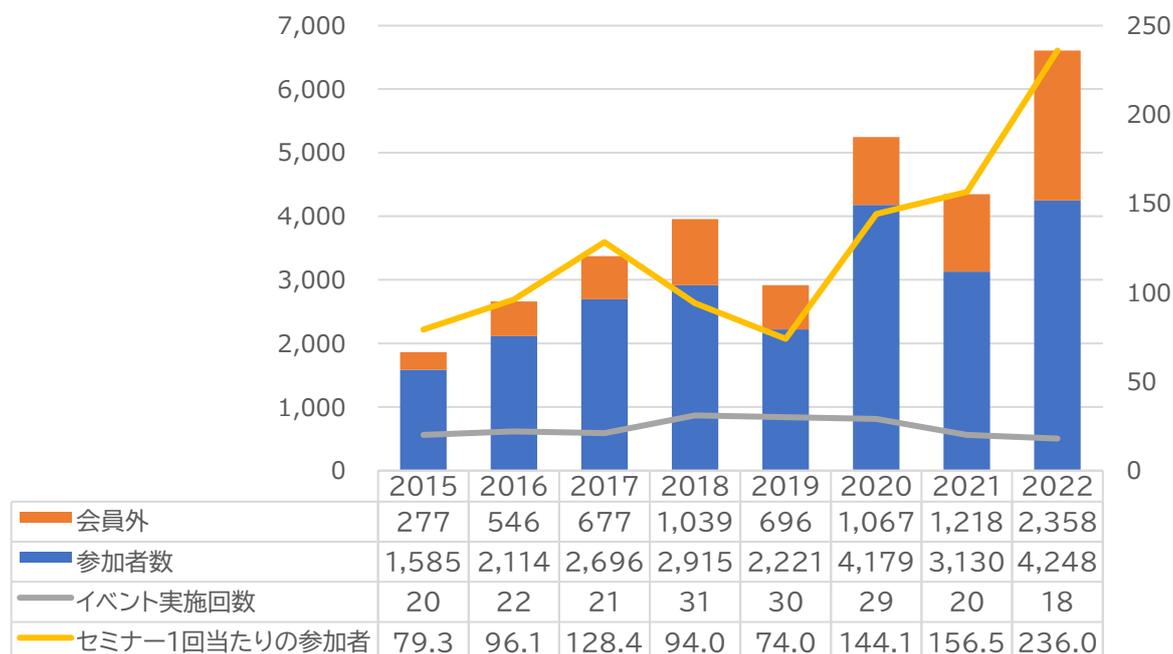


表 10 2022 年度参加者人数上位3セミナー

No.1	TTC・IOWN Global Forum 共催オンラインセミナー 「グローバルパートナーと紡ぐ IOWN の今」 (2022/6/10)	772 名
No.2	NICT(量子セキュリティ拠点)・TTC・量子 ICT フォーラム共催 量子セキュリティ合同シンポジウム 2022 「量子が拓く未来の産業」 (2022/10/25)	594 名
No.3	IPJSJ・TTC 共催オンラインセミナー 「脳情報・BMI と将来のマシンインタフェース」 (2023/1/18)	591 名

詳細は別紙 7-1 を参照のこと。

7.3 Web サイトや機関誌等による情報発信

7.3.1 Web サイト

会員以外も含めた情報発信のツールとして内容の充実化に継続的に取り組んだ。また掲載内容の最新化のための更新ルール等を整理。

表 11 2022 年度 Web サイト掲載情報

コンテンツ	内容	件数
トピックス	5つのカテゴリー(①お知らせ、②イベント、③募集案内、④標準類制定・寄書審議、⑤ブログ)に分けて、タイムリーに情報を掲載。	77件
ブログ	岩田専務理事による国際会合の速報や標準化活動の解説、紹介等の情報発信	12件
セミナー・イベント 動画アーカイブ	2022 年度に開催したセミナーのうち講演者の許可が得られたものについてセミナーの記録動画をアーカイブとして会員向けに公開。	13件

7.3.2 機関誌(TTCレポート)

会員向けに TTC レポートを年 4 回発行(2022 年 4 月、7 月、10 月、2023 年 1 月)。技術と協創で拓く農業の未来や、Beyond 5G ホワイトペーパー～2030 年代へのメッセージ～など特集記事を展開。

7.3.3 メール配信

TTC からの各種案内メールを登録者向けに配信。毎月初めにマンスリーレポートとして、月ごとの活動状況等を配信する他、セミナー等のイベント案内や、TTC 会員向けにはブログや TTC レポートの更新情報を随時配信。

7.4 関連団体主催セミナーへの後援・協賛・協力

- ・ 関連する他団体等が主催するセミナー・ワークショップについて、7 件の後援・協賛を通じ連携を強化(別紙 7-2)。
- ・ 3 件の展示会等へ後援・協賛を実施(別紙 7-3)。

8 表彰

- ・ 表彰制度にもとづき表彰選考委員会を開催し、情報通信技術賞(総務大臣表彰、TTC 会長表彰)の対象者を選考(2022 年 4 月 13 日)。
- ・ 「2022 年度 情報通信技術賞・功労賞表彰式(2022 年 6 月 14 日)」にて総務大臣表彰(2 名)、TTC 会長表彰(4 名)、功労賞表彰(15 名)を行い、その功績を称えた(別紙 8)。
- ・ 表彰式は、適切な感染防止対策を実施の上、受賞者を中心に少人数で開催。また、ライブ配信を実施。

9 業務運営状況

9.1 規程等の整備

記載すべき事項なし。

9.2 会議等の実施

総会、理事会、評議会の実施状況は、次のとおりである。

表 12 総会、理事会、評議会の実施状況

会議名	実施日	主な議題
第 54 回評議会	2022/5/23	・2021 年度標準作成状況について
第 220 回理事会	2022/5/23	・2021 年度事業報告及び附属明細書について ・2021 年度貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにそれらの附属明細書について ・役員候補の推薦について ・受賞者選考の報告について ・入会の承認について
第 61 回定時総会	2022/6/14	・2021 年度事業報告及び附属明細書の件 ・2021 年度貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにそれらの附属明細書の件 ・役員選任の件
第 221 回理事会	2022/6/14	・会長、専務理事の互選について ・3GPP2からの退会について ・入会の承認について
第 222 回理事会(書面)	2022/7/8～ 7/19	・入会の承認について
第 223 回理事会(書面)	2022/11/7～ 11/15	・入会の承認について
第 224 回理事会	2023/2/20	・2023 年度事業計画について ・2023 年度収支予算について

9.3 会員及び財務

- ・ 財務面では、会費口数が計画口数を下回ったが、コロナウイルス感染症の影響に伴う支出の減や調査研究受託業務の収入等により黒字決算を実現。
- ・ 会員数及び会費口数の増加に向けて、専門委員会等の活動報告や新規標準化テーマに関するセミナーを開催。標準化活動の広報・普及に努めた。
- ・ ホームページからの情報発信、会議室の環境整備など、会員数及び専門委員会登録数の増加に向けた施策を強化するとともに、経費削減に向けたきめ細かな取り組みを実施。

2022 年度に取り組んだ主な環境整備・経費節減施策は以下の通り。

- ・ TTC 事務室環境整備(タイルカーペットの交換等)
- ・ Web(オンライン)会議環境の充実

表 13 2022 年度における会員の推移

会員種別	2021 年度末	2022 年度末	2022 年度における変動
正会員	75	75	入会 2 社、退会 2 社
準会員	1	1	
賛助会員	12	11	退会 1 社
協力会員	8	10	入会 2 社
合計	96	97	

表 14 2022 年度における専門委員会登録数の主な推移

専門委員会	変動
3GPP	新規登録 3 社
伝送網・電磁環境	新規登録 1 社
IoT エリアネットワーク	新規登録 1 社、退会 2 社
マルチメディア応用、コネクテッド・カー、IoT・スマートシティ、セキュリティ	退会 1 社
BSG	退会 2 社

9.4 運営改善

- ・ ワーク・ライフ・バランスの実現と、事務局運営の円滑化・効率化を促進するため女性活躍推進法に基づき策定した行動計画について、昨年度に引き続きノー残業デー及び有給休暇取得促進を実施。
- ・ 新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大防止の観点から、TTC 会員、非会員及び事務局職員の健康と安全を確保するため、会議及びセミナーを臨場(TTC会議室を利用)方式に加え、Web 会議(オンライン会議)を活用しているが、今年度は更にツールを充実。事務局職員のシフト勤務の試行実施や在宅勤務の試行実施などを継続し、事業運営を柔軟に対応。
- ・ 3GPP 専門委員会の活動を通し、四半期ごと進めている TTC 標準仕様の作成(ダウンストリーム作業)において、これまで手作業で行ってきた作業に対し、自動化ツール等の運用を継続的に改良し、人為エラーの回避と工程時間の大幅な短縮を実現。

(1)企画戦略委員会 委員長・副委員長・委員一覧

役職	氏名	会員名
委員長(標準化会議議長)	古川 聖	東日本電信電話株式会社
副委員長(標準化会議副議長)	大谷 朋広	KDDI 株式会社
委員	石岡 譲	富士通株式会社
委員	表 英毅	ソフトバンク株式会社
委員	鹿嶋 正幸	沖電気工業株式会社
委員	澤田 政宏	株式会社 NTT ドコモ
委員	樽屋 克彦	株式会社日立製作所
委員	辻河 亨	日本電信電話株式会社
委員	山田 徹	日本電気株式会社
委員	渡辺 伸吾	KDDI株式会社

(2)部門・専門委員会・AG の担当企画戦略委員

部門	専門委員会・アドホック等
ICT 活用アプリケーション: 石岡、山田、樽屋、澤田	<ul style="list-style-type: none"> ・マルチメディア応用:石岡 ・コネクテッド・カー:樽屋 ・BSG:山田 ・IoT・スマートシティ:澤田、山田
プラットフォーム: 石岡、樽屋、渡辺	<ul style="list-style-type: none"> ・AI 活用:石岡、樽屋 ・oneM2M:渡辺 ・セキュリティ:樽屋 ・企業ネットワーク:樽屋
プロトコル・NW 管理・品質: 辻河、表	<ul style="list-style-type: none"> ・信号制御:辻河 ・番号計画:辻河 ・網管理:表
アーキテクチャ: 辻河、中野、澤田	<ul style="list-style-type: none"> ・Network Vision:辻河、渡辺 ・移動通信網マネジメント:澤田、渡辺 ・3GPP:澤田、渡辺
トランスポート・アクセス・エリア NW: 鹿嶋、表	<ul style="list-style-type: none"> ・IoT エリアネットワーク:鹿嶋 ・伝送網・電磁環境:表 ・光ファイバ伝送:表 ・アクセス網:表、鹿嶋
アドバイザリーグループ	<ul style="list-style-type: none"> ・国際連携:山田 ・技術調査:山田

(1)標準化会議の審議経過

内容	標準化会議回数			
	第 136 回	第 137 回	第 138 回	第 139 回
標準案の周知	2022.3.4 (Web 公開)	2022.6.3 付議する案件が無 かったため中止	2022.9.9 付議する案件が無 かったため中止	2022.12.2 (Web 公開)
標準案説明会	中止 (注 1)	—	—	中止 (注 1)
標準案に対する 意見・対案の募集	2022.3.4 ～ 2022.3.25	—	—	2022.12.2 ～ 2023.1.6
対処方針の 周知(1 回目)	中止 (注 2)	—	—	中止 (注 2)
対処方針に対する 意見・対案の募集	—	—	—	—
対処方針の 周知(2 回目)	—	—	—	—
票決実施の 議長決定周知	2022.4.22 (E-Mail)	—	—	2023.2.3 (E-Mail)
電子投票実施	2022.5.13 9:00 ～ 2022.5.19 15:00	—	—	2023.2.10 9:00 ～ 2023.2.16 15:00

【内容欄の説明】

標準案の周知:標準案に対する意見および対案の提出依頼および IPR 声明書の提出依頼。

標準案説明会:原則として「標準案に対する意見・対案の締切日」までに開催。

対処方針の周知:意見・対案に対し、当該専門委員会として対処方針を示す。

(注 1):標準案説明会を案内したが、参加希望者が 1 名以下だったため、個別に対応し説明会は中止

(注 2):標準案に対する意見・対案の提出がなかったため中止

(2)2022 年度標準の制改定件数および意見・対案の提出状況

標準化会議 (投票締切日)	標準作成状況 (注1)			意見・対案の提出状況(件数)							
	新規	改定	廃止	標準化会議委員提案				専門委員会自主提案			
				技術内容に関するもの		記述形態に関するもの		技術内容に関するもの		記述形態に関するもの	
				提案	採用	提案	採用	提案	採用	提案	採用
第136回 (2022.5.19)	5	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第137回 (中止)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第138回 (中止)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第139回 (2023.2.16)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	6	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(注1)本表に記載の「改定」以外に、単なる誤記訂正等、技術的内容には変更が無い改定は当該専門委員会での承認のみで改定版の制定が行えるので、その数値は本表には含まれていない。

(3)制改定及び廃止した標準等の年度別の件数推移

以下の標準類の制改定数と廃止数には、標準類の英訳版((E)標記のドキュメント番号の標準類)、および標準の単なる誤記訂正による改定は含めていない。

① 標準類の年度別「制定・改定・廃止」件数推移 (3PPP/3GPP2 以外)

区分	年度	2018	2019	2020	2021	2022
標準	制定	17	11	10	10	6
	改定	7	3	15	6	7
	廃止	0	0	0	0	0
仕様書	制定	22	24	2	0	23
	改定	1	1	2	3	2
	廃止	0	0	0	0	0
技術レポート	制定	8	11	2	5	16
	改定	1	3	1	4	4
	廃止	0	0	0	0	0

(参考)2022 年度英訳版:改定 1 件。誤記訂正:改定 2 件。

② 3GPPおよび3GPP2の標準類の年度別「制定・改定・廃止」件数推移

区分	年度	2018	2019	2020	2021	2022
仕様書	制定	1,952	535	1,252	704	1,389
	改定	0	0	0	0	0
	廃止	0	3	0	0	0
技術レポート	制定	90	1	40	1	55
	改定	0	0	0	0	0
	廃止	19	0	0	0	0

③ TTC 標準類の累積件数(3GPP/3GPP2 を含む 2022 年度累計)

	年度	2018	2019	2020	2021	2022
標準類	標準	886	897	907	917	923
	仕様書	13,972	14,528	15,782	16,486	17,898
	技術レポート	625	637	679	685	756

④ TTC 標準類英訳版の制改定及び廃止(参考)

種別	専門委員会名	年月日	制改定及び廃止した標準類の番号とタイトル
標準	信号制御	2022.5.19	JJ-90.30(E)(改定 第10版) Common interconnection interface Between IMS operator's networks (English Edition)

⑤ TTC 標準の誤記訂正による改定(参考)

種別	専門委員会名	改定年月日	改定した標準番号とタイトル
標準	セキュリティ	2022.4.11	JT-X1060(改定 第1.1版) サイバーディフェンスセンターを構築・運用するためのフ レームワーク
	信号制御	2022.5.19	JJ-90.28(改定 第4.1版) 緊急通報呼に関する NNI 仕様

専門委員会 委員長・副委員長一覧

2023年3月末日現在

部門	専門委員会名	委員長	副委員長
ICT 活用アプリケーション	マルチメディア応用専門委員会	山本 秀樹 (沖電気工業株)	芹沢 昌宏 (日本電気株)
	コネクテッド・カー専門委員会	千村 保文 (沖電気工業株)	鈴木 邦一 (株デンソー)
	BSG 専門委員会	荒木 則幸 (日本電信電話株)	山本 秀樹 (沖電気工業株)
	IoT・スマートシティ専門委員会	山田 徹 (日本電気株)	後藤 良則 (日本電信電話株)
プラットフォーム	AI 活用専門委員会	宮澤 雅典 (KDDI株)	岩崎 順子 (日本電気株)
	oneM2M 専門委員会	山本 賢一 (KDDI株)	山崎 育生 (日本電信電話株)
	セキュリティ専門委員会	三宅 優 (KDDI株)	安田 幹 (日本電信電話株)
	企業ネットワーク専門委員会	須藤 一郎 (岩崎通信機株)	三浦 貴之 (富士通株)
プロトコル・NW 管理・品質	信号制御専門委員会	蓑田 学 (KDDI株)	斉藤 壮一郎 (沖電気工業株)
	網管理専門委員会	高呂 賢治 (沖電気工業株)	清水 智明 (NTTコムウェア株)
	番号計画専門委員会	森田 公剛 (日本電信電話株)	夏目 基 (株NTTドコモ)
アーキテクチャ	Network Vision 専門委員会	後藤 良則 (日本電信電話株)	桑原 幹夫 (株日立製作所)
	移動通信網マネジメント 専門委員会	横田 大輔 (ソフトバンク株)	相川 慎一郎 (富士通株)
	3GPP 専門委員会	横田 大輔 (ソフトバンク株)	傳寶 浩史 (日本電気株)
トランスポート・ アクセス・エリア NW	IoT エリアネットワーク 専門委員会	近藤 重邦 (日本電信電話株)	高呂 賢治 (沖電気工業株)
	伝送網・電磁環境専門委員会	村上 誠 (日本電信電話株)	斧原 聖史 (三菱電機株)

	アクセス網専門委員会	岡崎 浩治 (ソフトバンク株)	水口 潤 (三菱電機株)
	光ファイバ伝送専門委員会	中島 和秀 (日本電信電話株)	飯塚 哲也 (ソフトバンク株)

中期標準化戦略(2022 年度活動報告)

中期標準化戦略(2022年度重点取り組みと活動報告)		専門委員会・AG名	マルチメディア応用専門委員会	
新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	国内の民間団体の検討結果等に基づき日本企業の海外展開に向けた標準獲得のため、ILE、IPTV、アクセシビリティ、電子情報健康管理、マシビジョンに関する国際標準化団体アップストリーム8件程度(ITU-T寄書7件、ASTAP寄書1件)を実施。国際標準化動向の情報提供のために、国内向けに、セミナー1件、ダウンストリーム1件を実施予定。			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	SG16の以下の課題(a)(b)(c)は関連するTTCのグループとの連携を深め、SG16への寄書の国内寄書審議の取りまとめは本委員会で行う。以下では、TTCグループ名を括弧の中に記載。 (a) 課題Q.5 AIによるマルチメディアアプリケーション(AI活用) (b) 課題Q.22 分散電子台帳技術とeサービス(セキュリティ) (c) 課題Q.27 ITS (コネクテッドカー)			
主な活動項目	概況指標	2022年度目標(当初計画時)	2022年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数 外部会合への参加・連携状況	8件程度 SG16会合:9または10月 ASTAP-34:第1または2四半期	12件(SG16)、1件(ASTAP) ITU-T SG16会合:10月 ASTAP-34:4月	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準 TS/TR/SR	各SWGで設定 各SWGで設定	なし なし	
③ ダウンストリーム	数	各SWGで設定	1件	
新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	国内の民間団体の検討結果等に基づき日本企業の海外展開に向けた標準獲得のため、ILE、IPTV、アクセシビリティ、電子情報健康管理、マシビジョンに関する国際標準化団体アップストリーム8件程度(ITU-T寄書7件、ASTAP寄書1件)を実施。国際標準化動向の情報提供のために、国内向けに、セミナー1件、ダウンストリーム1件を実施予定。			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	SG16の以下の課題(a)(b)(c)は関連するTTCのグループとの連携を深め、SG16への寄書の国内寄書審議の取りまとめは本委員会で行う。以下では、TTCグループ名を括弧の中に記載。 (a) 課題Q.5 AIによるマルチメディアアプリケーション(AI活用) (b) 課題Q.22 分散電子台帳技術とeサービス(セキュリティ) (c) 課題Q.27 ITS (コネクテッドカー)			
主な活動項目	概況指標	2022年度目標(当初計画時)	2022年度実施状況	記事
④ プロモーション 普及推進	セミナー	各SWGで設定	1. 2022年10月にTTCセミナー「遠隔医療のアクセシビリティに関する最新標準技術動向」の開催 2. 2023年3月に「Safe Listening関連セミナー」計画中	
	記事投稿、講演会	1. 適宜SG会合の結果報告、ドキュメント作成、ダウンストリームの概要をTTCLレポートに寄稿する。 2. 6月 画像センシング展および 12月 国際画像機器展にてパネル展示を実施する。	1. TTCLレポート7月号に標準類制定状況「JT-H266」及び「JT-H430.5」の記事を寄稿 2. TTCLレポートにSG16会合の記事を寄稿。4月号に「第8回会合」、1月号に「第1回会合」。 3. TTCLレポート1月号に「IVSM 2022 Fall TOKYO」会合報告を寄稿 4. IVSM 2022 Fall TOKYO(9/26-)30日)をTTC会議室にて開催。この中でセミナー講演を実施。 5. 国際画像機器展(12/7-9)にて、JIIA-TTC連携取組に関するパネル展示、及びセミナー講演実施。 6. 9月と11月にメタバース標準化対応検討会議開催	

中期標準化戦略(2022年度重点取り組みと活動報告)		専門委員会・AG名	電子情報健康管理SWG	
新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	「Safe Listening勧告の改定、普及、アクセシブル遠隔医療の推進、普及医療用UHD応用関連動向の推進。 ・脳情報プラットフォーム関連動向の推進。 ・AIと保険医療標準化のワッチ ・コロナ関連勧告の検討。			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	・ TTC-SWG1305 'と医療におけるEMCIについて協議。			
主な活動項目	概況指標	2022年度目標(当初計画時)	2022年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数 外部会合への参加・連携状況	ITU-T SG16会合:時期未定 FG-AI4H:2月	3件 ITU-T SG16会合:10月	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準 TS/TR/SR	1 1件/0件/0件		
③ ダウンストリーム	数	TS: 回 TR: 回		
④ プロモーション 普及推進	セミナー	年度内に数回セミナーを開催する	2023年3月に「Safe Listening関連セミナー」計画中	
	記事投稿、講演会	TTCLレポート、ITUジャーナル等		

中期標準化戦略(2022年度重点取り組みと活動報告)		専門委員会・AG名	アクセシビリティSWG		
新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	Net119のサービス普及を側面からサポート(相互接続試験の場所提供など)				
関連する専門委員会または外部組織とその内容					
主な活動項目	概況指標	2022年度目標(当初計画時)	2022年度実施状況	記事	
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	2件程度	-		
	外部会合への参加・連携状況	・ITU-T SG16会合:7月 ・IPTVアクセシビリティコンソーシアムとの連携			
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件			
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件		
③ ダウンストリーム	数	1件	TS制定: TR制定:		
④ プロモーション 普及推進	セミナー	・年度内にセミナーを1回開催 (電話リレーサービスの勉強会なども検討)	TTCセミナー「遠隔医療のアクセシビリティに関する最新標準技術動向」の開催		
	記事投稿、講演会				

中期標準化戦略(2022年度重点取り組みと活動報告)		専門委員会・AG名	メディア符号化・通信SWG		
新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	最新のビデオ符号化標準(H.266)のダウンストリーム活動 ・相互接続上の課題があれば、HATSフォーラムと連携した取り組みを実施 ・FAX端末の要望に基づく活動の推進				
関連する専門委員会または外部組織とその内容					
主な活動項目	概況指標	2022年度目標(当初計画時)	2022年度実施状況	記事	
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数		-		
	外部会合への参加・連携状況				
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準				
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件		
③ ダウンストリーム	数	1件 TS: 回 TR: 回	・TTC簡略標準化 JT-H266v1の制定。 TS制定 TR制定:		
④ プロモーション 普及推進	セミナー				
	記事投稿、講演会		・TTCLレポート 標準類制定状況 (JT-H266)		

中期標準化戦略(2022年度重点取り組みと活動報告)

専門委員会・AG名

ILE-SWG

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ITU-Tにおけるプレゼンス確保の観点から、ILEに関する基本勧告のメンテナンスや個別技術に関する勧告化を必要に応じて実施 Beyond 5Gの超レプレゼンス等、ILEに関連する動きを取り入れた作業項目等を検討 メンバー間でのILEに関する相互理解を深めるため、イマーシブサービスの事例紹介をSWGで継続的に実施 ILE勧告の国内認知を高めるため、ITU-T勧告のダウンストリームやセミナー開催を検討 情報規格調査会やNexCDiフォーラムとの合同会合の開催等、連携強化(実施には至らず) 会員企業のビジネスメリットのある国際標準化を推進することとし、新サービスやグローバル展開に向けたアップストリーム活動を継続 IPTVフォーラム及びDSCの規格検討に合わせて同団体との連携を継続、国内外への普及の観点から必要に応じて必要となる勧告を日本主導で整備 会員企業の要望に応じてビジネス展開に資するダウンストリームを継続検討 			
関連する専門委員会または外部組織とその内容				
主な活動項目	概況指標	2022年度目標(当初計画時)	2022年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	4件程度(ILE:2、IPTV:2)	7件(ILE:6、IPTV:2)	
	外部会合への参加・連携状況	ITU-T SG16会合:未定	ITU-T SG16会合:10月 ASTAP-34:4月	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件	0件	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	TS: 1回 TR: 0回	TS制定:0回 TR制定: 0回	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	マルチメディア応用専門委員会のセミナーに協力する		
	記事投稿、講演会			

中期標準化戦略(2022年度重点取り組みと活動報告)

専門委員会・AG名

マシンビジョンSWG

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ITU-T SG16 Q5、Q21のマシンビジョンに関する寄書調査、問題提起 JIIA、及びそのアライアンスするマシンビジョン業界団体での標準化活動と連携 国際標準化動向の情報提供のための国内向けセミナー、及び国際的な業界標準の推進 			
関連する専門委員会または外部組織とその内容				
主な活動項目	概況指標	2022年度目標(当初計画時)	2022年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	—	1件 (他国寄書の部分的な内容修正提案寄書)	
	外部会合への参加・連携状況	参加:ITU-T SG16会合:10月 ITU-T RGM会合:未定 連携: —	参加:ITU-T SG16会合:22年10月 ITU-T RGM Q21:22年7月 23年3月予定 ITU-T RGM Q5 :22年8月 23年3月予定 連携:JIIA、G3との連携	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件	0件	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	0件	0件	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	2件:6月 画像センシング展セミナー 12月 国際画像機器展セミナー	2件: 22年 6月 画像センシング展セミナー 22年12月 国際画像機器展セミナー	
	記事投稿、講演会	2件:6月 画像センシング展パネル展示 12月 国際画像機器展/パネル展示	4件: 22年 9月 マシンビジョン標準化国際会議 (IVSM)共催 22年 6月 画像センシング展/パネル展示 22年12月 国際画像機器展/パネル展示 23年 1月 TTCレポート記事投稿	

中期標準化戦略（2022年度重点取り組みと活動報告）

専門委員会・AG名

コネクテッド・カー専門委員会

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	コネクテッド・カーに関する最近の国内外の動向に注視し、以下の標準化活動を実施 (1) 災害時ITS応用:自動車を用いた防災・減災システム(VHUB)の社会実装に向けて、CIAJと連携し、利活用ガイドラインを策定 (2) ITSセキュリティ:セキュリティ専門委員会と連携し、V2Xに関するセキュリティガイドライン(X.1373rev)の策定を支援 (3) 広域通信(5Gなど)と狭域通信(DSRC)を活用した都市全般を対象とする事故防止や渋滞解消に向けた交通システムの実用化に向けた取り組みの調査 (4) 5GにおけるV2X:5Gを活用したV2Xの標準化動向について、移動通信網マネージメント専門委員会と連携して、5GMF Connected Vehicle adhocに参加し、意見交換、調査を実施			
関連する専門委員会または外部組織と内容	・マルチメディア応用専門委員会(SG16、FG-VM、FG-AI4AD) ・セキュリティ専門委員会(SG17での連携)			
主な活動項目	概況指標	2022年度目標(当初計画時)	2022年度実施状況	記事
① アップストリーム他団体との連携	寄書数 外部会合への参加・連携状況	1件 ・CITS 1件	3件 ・CITS 3月会合に活動状況報告 ・ASTAP-34 活動状況報告 ・CITS 9月会合に活動状況報告	
② ドット作成国内標準仕様書レポート	JJ標準 TS/TR/SR	0件/2件/0件 ・V-HUB利活用ガイドライン 2件	0件/2件/0件 ・TR-1089 V-HUB利活用ガイドライン 概要編 ・TR-1090 V-HUB利活用ガイドライン 運用編	
③ ダウンストリーム	数	TS: 0件 TR: 0件	TS: 0件 TR: 0件	
④ プロモーション普及推進	セミナー	2回 ・V-HUB利活用ガイドライン発行セミナー ・CEATEC2022コンファレンス	2回 ・6/28 V-HUB利活用ガイドライン発行セミナー(CIAJ共催) ・10月 CEATEC2022 ビデオセミナー(CIAJ共催)	
	記事投稿、講演会		プレスリリース 1件 ・CIAJ V-HUB利活用ガイドライン発行プレスリリースにエドソース(2022/5/30) TTCLレポート記事 2件 ・TTC/CIAJ共催オンラインセミナー「災害時の自動車を用いた情報通信システムと防災訓練」開催記事 ・CEATEC2022オンライン講演「災害時の自動車を用いた情報通信(V-HUB)の利活用に向けたガイドラインの紹介」開催記事	

中期標準化戦略（2022年度重点取り組みと活動報告）

専門委員会・AG名

BSG専門委員会

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	① 日本のICT技術の新興国普及を目指すため、ASTAP EG BSGに参画し、「ICTソリューションハンドブック」のフォロー・改定を継続 改定内容はTTC技術レポートに反映 ② 過去のパイロットプロジェクトサイトでの異業種間データを共有するプラットフォームをマレーシアと連携して維持管理 異業種間データを組合せた新産業創生に向け、新興国の若手研究者によるコンペ(アイデアソン)を開催 ③ 過去のパイロットプロジェクトも含め安定的に正確な現地データを取得するため、フィリピン、インドネシア等と連携して、持続可能なIoTシステムを検討継続 ④ 産学官連携プロジェクトを利用して、日本のICT技術の新興国普及のためのビジネスモデル形成およびステークホルダー育成の推進を継続 ⑤ アジアで共通的に取り組むべき社会課題の解決に向けた新たなICTソリューションの検討と推進			
関連する専門委員会または外部組織と内容	新規プロジェクトの内容により、個別に相談する。			
主な活動項目	概況指標	2022年度目標(当初計画時)	2022年度実施状況	記事
① アップストリーム他団体との連携	寄書数 外部会合への参加・連携状況	1件 ・ASTAP EG BSG(2022年4月予定) - ICTソリューションハンドブック改定提案 ・ASTAP: 1回 (2022年4月予定) ・SHAREミーティング: 1回 ・他国標準化団体との合同ワークショップ(マレーシアMTSFB、タイNBTC等) ・アイデアソン開催	1件 ・ASTAP-34 EG BSG (2022年4月) - ICTソリューションハンドブック改定提案(マレーシアのケース追加) ・ASTAP-34 e-Meeting (2022年4月) ・SHAREミーティング-18 タイにて開催 ・マレーシアMTSFBとの会合開催(2022年7月) ・マレーシアでのAPTプロジェクト完了式への参加(2022年7月) ・ADF-19 e-meeting (2022年11月)でのプロジェクト紹介 ・タイ農村コミュニティとの国際ワークショップ開催	
② ドット作成国内標準仕様書レポート	JJ標準 TS/TR/SR	0件 0件 / 1件 / 0件 - TR: ICTソリューションハンドブック改定	0件 0件/1件/0件 ・TR-1058 第5版 2022/3/1 遠隔地域でのICTソリューション導入に向けたハンドブックにミャンマーでの新たな「e-Healthcare for end epidemic of Tuberculosis in Myanmar」を追加	
③ ダウンストリーム	数	TS制定: 0件 TR制定: 0件	TS制定: 0件 TR制定: 0件	
④ プロモーション普及推進	セミナー	・TTCセミナー 2回	セミナー 2回 - 2022/7/21 APTプロジェクト 成果報告セミナー開催(サラワク総合病院(マレーシアサラワク州 クチン市)) - 2022/11/23 APTプロジェクト「Behavioural Analytics and Real-time Tracking of Patients Using IoT and RFID」成果発表(ADF-19 onlineにて)	
	記事投稿、講演会	・TTCLレポート記事: イベント毎に報告	TTCLレポート記事 3件	

中期標準化戦略(2022年度重点取り組みと活動報告)

専門委員会・AG名

IoT・スマートシティ専門委員会

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ITU-T SG20におけるIoT・スマートシティに関する国際標準への提案活動の推進 ITU-T SG20における標準化動向の調査および、対応・対策 オンラインセミナー開催：委員会活動およびITU-T SG20の標準化動向の情報発信、関連分野の識者の講演 			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	<ul style="list-style-type: none"> IoTエリアネットワーク専門委員会：IoTエリアネットワーク専門委員会で検討された都市インフラモニタリングをITU-T SG20にて勧告化とプロモーション 			
主な活動項目	概況指標	2022年度目標(当初計画時)	2022年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	2	0	
	外部会合への参加・連携状況	ITU-T SG20会合 2022年 7月 ITU-T FG-A14A会合 開催時期未定	ITU-T SG20会合 2022年7月(開催済)、2023年1月(開催予定) ITU-T FG-A14A会合 2022年5月、8月、10月(開催済)、2023年1月(開催予定)	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準			
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	TS: 回 TR: 回	TS制定 TR制定:	
	セミナー	・TTCセミナー「IoTスマートシティに関する標準化・技術動向」(開催時期未定)	・TTC・日本OMG共催オンラインセミナー「Digital Twinの活用と標準化最前線」(2022年10月開催済) ・TTC・W3C共催オンラインセミナー「Webベースのデジタルツイン標準化、最新技術動向」(2023年1月開催予定)	
④ プロモーション 普及推進	記事投稿、講演会	TTCLレポート2件(会合報告、セミナー報告)	TTCLレポート 3件(会合報告2件、セミナー報告1件)	

中期標準化戦略(2022年度重点取り組みと活動報告)

専門委員会・AG名

AI活用専門委員会

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	<p>全体的網羅性確保を目指し、5Gを含む通信を利用した様々なAI適用シナリオを調査し、シナリオ別にAI適用時の倫理側面でのリスクの洗い出しと、その低減策の検討を行い、AI適用の心理的なハードルを下げ、AI適用の普及促進に資することを旨とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> TTCの関心分野/サービスを中心に、AIを適用したユースケース(シナリオ)調査を行う AIのシステムアーキテクチャや構成の推定 調査を行ったシナリオ毎に、シナリオ固有リスクの分析を、軸とした活動を行うことで、リスクの低減や説明責任ポイントの明確化に向けた検討を行う。 合わせて、調査/検討結果は、新規TRとして取り纏め、制定を目指す。 各SDOでの検討状況に関する情報の共有を行う。 			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	<ul style="list-style-type: none"> 信号制御、Network Vision、移動通信網マネジメント、IoTエリアネットワークの各専門委員会(2030年を見据えた将来網検討) IoTエリアネットワーク専門委員会でのユースケース検討結果を踏まえたWI検討 コネクテッドカー専門委員会(特に、FG A14AD関連) 			
主な活動項目	概況指標	2022年度目標(当初計画時)	2022年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	-	-	
	外部会合への参加・連携状況	必要に応じて	-	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件(予定しない)	-	
	TS/TR/SR	0件/1件/0件	TR制定:TR-1099v1.0	
③ ダウンストリーム	数	-(予定しない)	-	
	セミナー	AI活用に関するセミナーの開催	・AI活用時の説明責任の事例調査:9月	
④ プロモーション 普及推進	記事投稿、講演会	必要により検討	・マルチメディア推進フォーラム「AIの品質・信頼性・説明責任に関する動向と事例に基づく検討紹介」:11月	

中期標準化戦略(2022年度重点取り組みと活動報告)		専門委員会・AG名	oneM2M専門委員会	
新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> oneM2M仕様書の適時ダウンストリームの実施(Release4発行後に速やかに対応予定(2023年3月完了予定)) oneM2Mの次期仕様であるRelease 5の策定状況の動向把握(oneM2M専門委員会での情報共有) oneM2M準拠製品・ソリューション、各国導入に向けた取り組み(インドでの国内標準採用等)、及びoneM2M採用、普及を目的としたセミナー/チュートリアルを開催(他の専門委員会との協力を推進) 			
関連する専門委員会または外部組織とその他の内容	<ul style="list-style-type: none"> IoT/スマートシティ:スマートシティ、ITU-T動向化の情報交換を進める。 BSG:oneM2M普及について、協力/情報交換を進める。 IoTエリアネットワーク:IoTエリアネットワークに関して情報提供を検討する。 移動通信網マネジメント:oneM2M/3GPPインターワーキング関連で連携を検討する。 			
主な活動項目	概況指標	2022年度目標(当初計画時)	2022年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	各IMとして提出するため目標設定はしないが、日本勢として積極的な寄与を呼びかける	0件	
	外部会合への参加・連携状況	TP会合(2022年5月、7月、9月、11月、2023年2月、計5回予定)。5月会合はF2F開催となる予定。	TP会合は、2022年5月、7月、9月、11月に開催され、全会合に参加。2023年2月会合も参加予定。2022年5月、9月、11月会合は、F2Fと電話会議を併用したHybrid開催。	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件	0件	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	(Release4:2022年2Q以降) TS制定予定: ?件 TR制定予定: ?件	TS制定: 23件(予定) TR制定: 7件(予定) 2022年12月にRelease 4が発行され、ダウンストリーム作業中(2023年3月完了予定)	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	oneM2Mでの技術仕様策定状況に応じて、スマートシティなどをテーマとした他専門委員会と合同のセミナー開催を検討。	0件	
	記事投稿、講演会	TTCLレポート執筆、講演会への講師としての参加	0件	

中期標準化戦略(2022年度重点取り組みと活動報告)		専門委員会・AG名	セキュリティ専門委員会	
新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 他の標準化団体の動向を含む5Gセキュリティ標準化ロードマップを反映した5Gに対するセキュリティ管理策の勧告作成に着手 ISO/IEC 27002改定に対応したITU-T X. 1051(テレコム向けISMS)の改定検討開始 ITSセキュリティに関し、コネクテッド・カー専門委員会、および、3J(自技会、自工会、JASPAR)と連携し、X.1373改訂作業等に反映 ISO/IEC 27400の審議状況を見据えた、IoTシステムのためのセキュリティ管理策(X.sc-IoT)の日本の意向を反映した勧告草案の更新 X.1060(Cyber Defence Centre)のアフリカ諸国等への展開に対する協力 引き続き日本として注力・主導してきたQKD、IoTに関するワークアイテムの勧告化に貢献(QKDに関してはNetwork Vision専門委員会と連携) 			
関連する専門委員会または外部組織とその他の内容	<ul style="list-style-type: none"> コネクテッド・カー専門委員会:X.1373の改訂作業、および、その他のITSセキュリティ関係のワークアイテムの対応検討 Network Vision専門委員会、信号制御専門委員会:QKDに関わる勧告作成 IoT/スマートシティ専門委員会、IoTエリアネットワーク専門委員会:IoTセキュリティ関連のワークアイテムの取り扱い マルチメディア応用専門委員会:課題Q.22 分散電子台帳技術とeサービス 5GMF セキュリティ調査研究委員会:5Gセキュリティに関わる連携 			
主な活動項目	概況指標	2022年度目標(当初計画時)	2022年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	各SG17会合で10件程度	<ul style="list-style-type: none"> 10件(SG17 2022年4月会合) 10件(SG17 2022年8~9月会合) 	
	外部会合への参加・連携状況	<ul style="list-style-type: none"> SG17会合(2022年5月、8~9月) CJK Information Security WG会合(次期末定) 	<ul style="list-style-type: none"> CJK Information Security WG会合は、コロナ禍のため、引き続き中止。 2022年3月のSG17会合は、日本から24名の参加。 2022年8~9月のSG会合は、日本から26名の参加。 	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件 サイバーセキュリティ関連で標準化が必要と考えられる勧告の有無について検討する。	0件 2022年度はダウンストリーム以外のTTCL標準化案件は無し。	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	1件 X.1373については、本勧告の改定状況等を見ながら標準化検討する。(X.1373: Secure software update capability for ITS communication devices)	<ul style="list-style-type: none"> 2件を標準化 JT-X1060: ITU-T X.1060(Framework for the creation and operation of a cyber defence center) - 2022年4月11日発行 JT-X1712: ITU-T X.1712(Security requirements and measures for quantum key distribution networks - key management) - 2022年2月24日発行 	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	セキュリティに関するセミナー開催(2022/2Q)	<ul style="list-style-type: none"> 9月9日にTTCオンラインセミナー「企業・組織に関するセキュリティ対策の標準化、最新技術動向 ~サイバーディフェンスセンターについて~」を開催。 	
	記事投稿、講演会	TTCLレポート活動報告、他	<ul style="list-style-type: none"> SG17 5月会合、8~9月会合の結果報告をTTCLレポートに寄稿。 JT-X1060に関する記事をTTCLレポートに寄稿。 	

中期標準化戦略(2022年度重点取り組みと活動報告)

専門委員会・AG名

企業ネットワーク専門委員会

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> デジタルトランスフォーメーション時代を支える今後の企業ネットワーク構成技術。特にCOVID-19禍に伴うテレワークの急激な普及により強く求められている、Web会議等の通信技術としてIETFのWebRTC関連RFCの調査を継続中。 消防指令システム仕様書改訂に向けて、現行の複数方式における運用差異について整理中。 企業ネットワークの技術動向の継続的チェック 			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	<ul style="list-style-type: none"> Web会議関連の専門委員会・連携方法を検討予定としていたが、未着手。 			
主な活動項目	概況指標	2022年度目標(当初計画時)	2022年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数 外部会合への参加・連携状況	- -	- -	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準 TS/TR/SR	1件/1件/0件 ・消防指令システム(仕様書改定) ・Web会議に関する技術レポート	0件/2件/0件 ・消防指令システム(仕様書改定)は2023年度予定 ・Web会議に関するTR2件(TR1095:5月、TR1101:12月)制定済	
③ ダウンストリーム	数	TS:0回 TR:0回	TS制定:0回 TR制定:0回	
④ プロモーション 普及推進	セミナー 記事投稿、講演会	- -	- -	

中期標準化戦略(2022年度重点取り組みと活動報告)

専門委員会・AG名

信号制御専門委員会

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	<p>専門委員会 2030年を見据えた、将来網の在り方や、要件に関してNetwork Vision、移動通信網マネジメント、AI活用、IoTエリアネットワークの各専門委員会と連携した検討</p> <p>SIP SWG 国内ALL-IP化対応の標準(IMS事業者網間相互接続インターフェース等)の改訂</p> <p>① 3GPP等の標準化動向/PSTNマイグレーションに係る意識合わせの場の議論動向に留意しながら、IMS事業者網間インタフェースの検討を進める。</p> <p>② 委員からの標準化検討要望への対応</p> <p>③ CJK IMT-WG、GSM A等との連携、情報交換。</p> <p>NGN信号アップストリーム SWG</p> <p>① SG11会合へのアップストリーム活動(国内寄書のサポート)</p>			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	<ul style="list-style-type: none"> Security専門委員会(QKDN関連) Network Vision、AI活用、移動通信網マネジメント、IoTエリアネットワークの各専門委員会(2030年を見据えた将来網検討) IoTエリアネットワーク専門委員会でのユースケース検討結果を踏まえたWI検討 3GPP専門委員会、MM専門委員会 			
主な活動項目	概況指標	2022年度目標(当初計画時)	2022年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数 外部会合への参加・連携状況	- SG11:-	8件 SG11 7月会合:10名、11月会合:5名、3月会合(予定)	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準 TS/TR/SR	1件/0件/0件(未定)	4件 JJ-90.27v9.0 JJ-90.28v4.1 JJ-90.30v10.0 JJ-90.30(E)v10.0 TS:2件 TS-1018v7.1 TS-1025v1.0(23年3月予定) TR:2件 TR-1088v2.1 TR-1088v3.0(23年3月予定)	
③ ダウンストリーム	数	0件(未定)	1件 JF-IETF-RFC4040(23年2月予定)	
④ プロモーション 普及推進	セミナー 記事投稿、講演会	IP相互接続に関するセミナー(2022/6月) TTレポート活動報告 SG11 会合報告(未定)	未実施 ・SG11会合報告(April Vol.37/No.1) ・標準類制定状況(July Vol.37/No.2) ・SG11会合報告(October Vol.37/No.3)	

中期標準化戦略(2022年度重点取り組みと活動報告)

専門委員会・AG名

網管理専門委員会・SWG1501

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ITU-Tでは5G-RAN, AI, 省電力化、RESTなどの勧告が予定されており、その勧告化時期を見極めながらTTC標準化を行う方針で関連するTTC専門委員会の合意を経て、TTC標準化に向けた翻訳作業を実施 プロモーション活動として、網管理の最新動向に関するセミナーを開催 			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	<ul style="list-style-type: none"> AI活用専門委員会等とはセミナー等の動向を会合にて共有、議論 			
主な活動項目	概況指標	2022年度目標(当初計画時)	2022年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	-	-	-
	外部会合への参加・連携状況	<ul style="list-style-type: none"> TMForum関連会合(Action Week, Digital Transformation World等)対応者との連携 他関連専門委員会(AI活用専門委員会等)との連携 	<ul style="list-style-type: none"> セミナーにて、TMForum Digital Transformation World 2022の状況を共有、議論予定 AI活用専門委員会との合同意見交換会、AI活用時の説明責任の事例調査セミナー等に参加し、共有、議論 	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準			
	TS/TR/SR	0件/0件/0件 ITU-T SG2 関連のドラフト勧告の動向調査	0件/0件/0件 5G-RAN, AI, 省電力化、REST、スマートオペレーション関連の制定状況を共有、議論	
③ ダウンストリーム	数	TS: 回 TR: 回 1件(勧告化時期を見極めながらダウンストリーム対象を選定)	TS制定 TR制定: 1件 5月制定済み(M.3373「クラウドとSDNベースネットワークとの協同管理の要件」のダウンストリーム) M.3080「Framework of artificial intelligence enhanced telecom operation and management (AITOM)」を翻訳中	
	セミナー	・2022年度中に1回開催	・SWG1502と連携したセミナー開催を予定(3月)	
④ プロモーション 普及推進	記事投稿、講演会	・TTCLレポート投稿	・ダウンストリームの内容(M.3373)を踏まえてTTCLレポートに投稿済み(7月)	

中期標準化戦略(2022年度重点取り組みと活動報告)

専門委員会・AG名

網管理専門委員会・SWG1502

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	<p>JJ-201.01にも関連するITU-T勧告G.107シリーズ, P.863や、映像配信サービスの品質評価技術である勧告P.120Xシリーズの標準化動向や技術拡張に引き続き積極的に寄与、 今後、発展が期待される5G/IoT/VR映像に対する品質検討の動向を把握。</p>			
関連する専門委員会または外部組織とその内容				
主な活動項目	概況指標	2022年度目標(当初計画時)	2022年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	1件	5件	
	外部会合への参加・連携状況	ITU-T SG12:6月, 1月	ITU-T SG12 6月, 1月	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件	0件	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	0件	0件	
	セミナー	継続検討	3月開催予定	
④ プロモーション 普及推進	記事投稿、講演会	TTCLレポートにSG12会合の結果報告の記事を投稿	TTCLレポートにSG12会合の結果報告の記事を投稿	

中期標準化戦略(2022年度重点取り組みと活動報告)

専門委員会・AG名

番号計画専門委員会

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	1. ITU-T SG2での検討課題(IoT/M2M用の番号計画に関する新規勧告の策定、IMSJの割当管理に関する勧告E.212改訂、IIN(Issuer Identifier Number)の割当に関するE.118勧告改訂、番号ポータビリティ/キャリアスイッチングに関する勧告の改訂等)に対し、会合及び関連するラポート会合に参加し、動向を注視するとともに必要に応じてアップストリーム/ダウンストリーム活動を実施。特に、番号ポータビリティ方式に関する寄書提案等に関しては積極的にアップストリーム活動を実施。 2. 国内での番号方式に関する普及活動として電気通信番号セミナー開催、TTCLレポート・ITUジャーナル等への投稿を実施予定。また、欧州との相互理解を深めるために、欧州ECC-NaNとの交流を継続し、テクニカルレポート(ECCLレポートの翻訳)の作成実施。			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	・ 特になし			
主な活動項目	概況指標	2022年度目標(当初計画時)	2022年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	2件	2件	
	外部会合への参加・連携状況	<ul style="list-style-type: none"> SG2会合(5月)参加 SG2会合(2023年2月または3月)参加への準備 ECC-NaN全体会合(5月、10月)参加 米国番号規制組織(iconectiv, NANPA等)との意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> SG2会合(5月)参加 SG2のQ1/Q2ラポート会合参加(11月) ECC-NaN全体会合(6月、11月)への参加 ECC-NaN2会合(6月、10月)への参加 ※米国番号規制組織との意見交換は1月以降に実施予定	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件	0件	
	TS/TR/SR	0件/1件/0件 ※実施候補: ECCLレポートの翻訳(候補:番号への信頼)	0件/0件/0件	欧州でのECCLレポートの作成が予定より伸びたので次年度の計画に移行する。
③ ダウンストリーム	数	0件	0件	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	番号政策・将来番号方式等に関するセミナーの企画によるプロモーションの実施(2023年1月予定)	未実施	発表者候補の総務省メンバーの人事異動があり次年度の計画に移行する。
	記事投稿、講演会	TTCLレポート、ITUジャーナル等への投稿による普及活動を実施	TTCLレポート(10月号)、ITUジャーナル(9月号)への投稿による普及活動を実施	

中期標準化戦略(2022年度重点取り組みと活動報告)

専門委員会・AG名

Network Vision専門委員会

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	専門委員会 ・ 他専門委員会、AGと連携して、CJK NSA-WGの対処を行う。(今年度も、CJKは未開催) ・ 2030年を見据えた、将来網の在り方や、要件に関して信号制御、AI活用、移動通信網マネジメント、IoTエリアNWの各専門委員会と連携した検討。 NGNアップストリーム SWG ・ ITU-T SG13会合への対処方針並びに、寄書審議を実施し、TTCメンバからの提案調整を実施。 ・ QKDn, Autonomous NW関連課題の検討/寄書作成を行い、SG13へのアップストリーム活動を実施。 QoSアーキテクチャ SWG ・ 必要に応じて、NGNの品質情報転送機能の実現方法の標準化に関して、関連委員会と情報交換する。 NetSoft SWG ・ ネットワークソフト化、Autonomous NW関連技術課題の検討/寄書作成を行い、SG13へのアップストリーム活動を行う。 Autonomous Network AH ・ ITU-T FG AN対応の国内議論/情報共有と、専門委員会を横断した活動を実施。			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	・ Security専門委員会(QKDN関連) ・ 信号制御専門委員会(CJK対応) ・ 信号制御、AI活用、移動通信網マネジメント、IoTエリアネットワークの各専門委員会(2030年を見据えた将来網検討) IoTエリアネットワーク専門委員会でのユースケース検討結果を受けてのWI検討			
主な活動項目	概況指標	2022年度目標(当初計画時)	2022年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	SG13 :- FG AN:-	SG13 :5件 FG AN:12件	
	外部会合への参加・連携状況	SG13 :- FG AN:-	SG13 :7月会合、11月会合、3月会合(予定) FG AN:4月会合、6月会合、9月会合、2月会合(予定)	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	-	0件	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	-	0件	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	-	未実施	
	記事投稿、講演会	TTCLレポート活動報告 SG13 会合報告(未定)	・SG13会合報告(April Vol.37/No.1) ・SG13会合報告(October Vol.37/No.3)	

中期標準化戦略(2022年度重点取り組みと活動報告)

専門委員会・AG名

移動通信網マネジメント専門委員会

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> TTC内の3GPP専門委員会、国内SDOのARIB、海外SDOのATIS、CCSA、ETSI、TSDSI、TTA、国際標準化団体の3GPPの間に立ち、5Gを中心とした標準化を円滑に進めるに当たっての以下のようなアクションを実施 3GPP専門委員会と共催で3GPPにおける5G標準仕様(ネットワークスライス、非公衆5G網に焦点)の勉強会を実施 3GPP会合を徐々にFace-to-faceに戻すことに向けての各国SDO間の協議に参画、2023年度は6割程度の会合がF2Fで開催される予定 			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	<ul style="list-style-type: none"> 3GPP専門委員会と密に連携し、3GPPにおける5G標準仕様(ネットワークスライス、非公衆5G網に)の勉強会を実施。 			
主な活動項目	概況指標	2022年度目標(当初計画時)	2022年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数 外部会合への参加・連携状況	0件 ・3GPP: TSG Plenary (4回), PCG/OP会合(2回) (3GPP2対応は2022年度よりなし)	0件 ・3GPP: TSG Plenary (4回; 6月、9月、12月、3月) PCG/OP会合(2回; 4月、10月)	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準 TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム 数		TS: 0回 TR: 0回	TS制定: 0件 TR制定: 0件	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	3GPP専門委員会と連携して、5G仕様の主要アイテムを深堀する勉強会を実施、その成果の外部展開を検討予定	3GPP専門委員会と連携して、5G仕様の主要アイテム(ネットワークスライス、非公衆5G網)を深堀する勉強会を実施。その成果の外部展開については検討中	
	記事投稿、講演会	TTCレポート活動報告、積極的に関連業界誌等への寄稿を検討	無し	

中期標準化戦略(2022年度重点取り組みと活動報告)

専門委員会・AG名

3GPP専門委員会

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 3GPP-TSGを中心とした移動通信の国際標準化活動に関する情報共有と意見交換及び関連技術議論を実施。 3GPPで承認された仕様書を、年4回*TTC仕様書として制定(ダウンストリーム活動)-約1400件の仕様のダウンストリームを実施。*年4回:7月、10月、1月、3月(予定)。 年4回の専門委員会会合を開催し3GPP仕様書ダウンストリーム結果の承認、及び、TSG会合結果を基に主要課題等の議論を実施。 5G主要アイテム(NWスライス、Local 5G)の委員会内の勉強会の取り組み(来年度勉強会成果を委員会外へ提示/紹介を予定) 			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	<ul style="list-style-type: none"> 移動通信網マネジメント専門委員会等と連携して5G標準の普及促進、及びB5Gに向けた標準化推進策を検討する。 			
主な活動項目	概況指標	2022年度目標(当初計画時)	2022年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数 外部会合への参加・連携状況	・3GPP	3GPP TSG会合(3, 6, 9, 12月)を受けて、3GPP専門委員会#68(4月), #69(7月), #70(10月), #71(1月)を開催	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準 TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム 数		TS/TR 4回(四半期毎) Rel-17が追加となる予定	ダウンストリーム制定 4月8日制定 (TS 120件, TR 4件) 7月8日制定 (TS 94件, TR 0件) 10月15日制定 (TS 926件, TR 47件, Rel-17を追加) 1月13日制定 (TS 249件, TR 4件)	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	・移動通信網マネジメント専門委員会と連携して5G仕様の主要アイテムを深堀する勉強会の継続~勉強会の成果を外部に展開を検討予定	移動通信網マネジメント専門委員会と連携して5G仕様の主要アイテムとしてNWスライス、Local 5Gを選定し、各アイテムの技術を深堀するための勉強会を開催 NWスライス: 6回 x 2トピック, Local 5G: 9回 x 1トピック	
	記事投稿、講演会	TTCレポート活動報告、積極的に関連業界誌等への寄稿を検討		

中期標準化戦略(2022年度重点取り組みと活動報告)

専門委員会・AG名 IoTエリアネットワーク専門委員会

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組みken	① IoTを活用したインフラモニタリングで利用するセンサーデバイスの情報モデル標準化検討 ② タイムリーな既存TRの改定や新規作成を実施 ③ IoT推進フォーラムの技術・標準化分科会等との連携継続 ④ SG15合同アップストリーム会合、およびIoT・スマートシティ専門委員会会合に参加し、アップストリーム活動と情報共有実施			
関連する専門委員会または外部組織とその他の内容	・IoT・スマートシティ専門委員会: 当専門委員会で検討した都市インフラモニタリングをITU-T SG20にて報告作業を実施 ・信号制御専門委員会: 2030年を見据えた将来網検討 ・AI活用専門委員会: 2030年を見据えた将来網検討 ・OneM2M専門委員会: IoTエリアネットワークに関して情報交換を検討 ・セキュリティ専門委員会: IoTセキュリティに関する連携 ・Network Vision専門委員会: 2030年を見据えた将来網検討			
主な活動項目	概況指標	2022年度目標(当初計画時)	2022年度実施状況	記事
① アップストリーム他団体との連携	寄書数 外部会合への参加・連携状況	- SG15:9月会合、SG20:7月会合、SG5:6月会合	- SG15:9月会合、SG20:7月会合、2月会合(予定)SG5:6月、10月会合	
② ドキュメント作成国内標準仕様書レポート	JJ標準 TS/TR/SR	改定1件 ・JJ-300.20をIEEEにおける標準化状況にあわせて改定 0件/2件/0件 ・2021年度からの継続案件(情報モデルTR-1076関連、JJ-300.00関連)の検討・制定、及び必要に応じて関連TRの改定や新規作成を実施	・IEEE P1901c WG立上げ。JJ-300.20改定(第3版)に向け検討実施中。 0件/5件/0件 制定2件(TR-1092、TR-1093)、改定3件(TR-1064v4、TR-1082v3、TR-1052v2)	
③ ダウンストリーム	数	TS制定 ・(SG20 2月会合でY.4214が承認された場合)Y.4214のダウンストリームを検討 TR制定: ・TR-1082ガイドライン(第3版:改定) 2.5/5/10Gbps:マルチギガ仕様追加 10Mbps:P-MP仕様追加 ・W3C Web of Thing (Thing Description和訳)	TS制定 ・SG20でのY.4214のダウンストリームについて、継続検討中。2023年度の制定見込み。 TR制定 ・TR-1082ガイドライン(第3版制定) 「マルチギガ仕様」P-MP仕様追加 ・W3C Web of Thing (Thing Description和訳)は2023年度実施見込み	
④ プロモーション普及推進	セミナー 記事投稿、講演会	・IoTエリアネットワーク関連の技術/標準化動向に関するセミナー開催(2022/7予定) ・TTCLレポート3件(セミナー報告、TTC標準紹介2件)	「デジタル田園都市国家インフラ整備計画」を支えるIoTエリアネットワークの標準化および最新技術動向を開催(2022/7/27) TTCLレポート2件(セミナー報告、TTC標準紹介1件)	

中期標準化戦略(2022年度重点取り組みと活動報告)

専門委員会・AG名 伝送網・電磁環境専門委員会

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	[SWG1301] 大容量伝送網の基本であるOTNアーキテクチャ(JT-G872)及び管理(TR-G874)の文書改版、新たな管理技術としてのTransport SDN制御アーキテクチャ国内標準化。進展著しいAI/機械学習技術等、新技術の光伝送網適用可能性と国際標準化戦略検討。 [SWG1302] 5G等収容伝送網(MTN)、400G超高速OTN及び次期高精度時刻同期関連の国際標準動向情報共有と標準化戦略検討。5Gを支える伝送網に関する国内標準技術文書化と時刻同期関連技術レポート化。 [SWG1305] 大型・大電力容量通信システムの設置状態での試験法(CISPR TR 16-2-5)のTTC標準化。			
関連する専門委員会または外部組織とその他の内容	・光ファイバ伝送およびアクセス網委員会・物理層IFの連携			
主な活動項目	概況指標	2022年度目標(当初計画時)	2022年度実施状況	記事
① アップストリーム他団体との連携	寄書数 外部会合への参加・連携状況	- ITU-T SG15 WP3 (2022年9月(仮)) ITU-T SG5 WP1 (2022年6月(仮))	- ITU-T SG15 WP3 (2022年9月) ITU-T SG5 WP1 (2022年6月)	
② ドキュメント作成国内標準仕様書レポート	JJ標準 TS/TR/SR	- 0件/0件/0件	- 0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	5件 ・JT-G872(OTNアーキテクチャ)改版(2021/2Q) ・JT-G7702(トランスポートネットワークのSDN制御アーキテクチャ)新規(2021/4Q)[SWG1301] ・JT-G709.3(フレキシブルOTN長短距離インタフェース)新規(2022/4Q) ・TR-GNSS(GNSSの基礎技術)(2022/2Q) [SWG1302] ・大型・大電力容量通信システムの設置状態での試験法(CISPR TR 16-2-5)のTTC標準化(2022/2Q) [SWG1305]	7件 ・JT-G872改版(2022/4Q) [SWG1301] ・TR-1100新規(通信網においてGNSSをプライマリ・タイムリファレンスとして利用する場合の考慮事項)(2022/2Q) [SWG1302] ・JT-K132(新規)「電気通信設備に設置される照明器具から発生する妨害波に関する電磁環境適合性要求」 ・JT-K124(改定)「通信装置の粒子放射線影響の概要」 ・JT-K130(改定)「通信装置の中性子照射試験法」 ・JT-K131(改定)「通信装置のソフトウェア対策設計法」 ・JT-K138(改定)「粒子放射線試験に基づく対策のための品質推定方法とアプリケーションガイドライン」(2022/5/19制定)[SWG1305]	
④ プロモーション普及推進	セミナー 記事投稿、講演会	・通信EMCの国際標準化動向(IEICE EMCJと共催検討) TTCLレポート活動報告【SWG共通】	未実施 TTCLレポート vol.37 No2:TTC標準類制定状況 TTCLレポート vol.37 No4:ITU-T SG15 (Transport, Access and Home) 第1回本会合	

中期標準化戦略(2022年度重点取り組みと活動報告)		専門委員会・AG名	アクセス網専門委員会	
新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	[SWG2401] ・アクセス網を媒体に関係なくメタル、光ファイバによる無線区間以外の有線ネットワーク全般とらえ、特に次世代移動体網のフロントホール/バックホールにおけるアクセス網の問題点を検討し、必要に応じてITU-T SG15 Q2で議論されている次世代光アクセスシステムへのアップストリーム活動の実施。 ・G.hspやG.suppl文書で移動体網の伝送に光アクセスシステムを活用するための個別テーマでの検討が進んでおり、その検討状況について調査し、調査報告書を作成。 ・次世代光アクセス網SWGでは、SDOsにおける25G/50Gの次世代光アクセス技術を調査し、調査報告書を作成。 ・アクセスシステムの仮想化プラットフォームのメリット、ユースケースなどについてSDOs等での検討状況の調査報告書を作成。 [SWG2402] ・ハイブリッドアクセス網SWGでは、G.fast等の新規技術の調査するとともに海外の導入事例等の調査継続。また、スペクトル管理標準に関しては新たな課題の出現時は個別に対応。			
	関連する専門委員会または外部組織とその内容 ・AI活用専門委員会との連携を進めていく。NW上でアルゴリズムで実装されている部分へのAI活用では、ネットワーク設計、異常検知をAIにて自動化する試みがあります。このような、ネットワークの仮想化にAIの活用が必須となり、エッジコンピューティングには、AIによる解析は必要となることから連携して検討を進める。			
主な活動項目	概況指標	2022年度目標(当初計画時)	2022年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数		ITU-T SG15 WP1 (2022年4月):2件 ITU-T SG15 WP1 (2022年12月):2件	
	外部会合への参加・連携状況	ITU-T SG15 WP1 (2022年?月)	ITU-T SG15 WP1 (2022年4月) ITU-T SG15 WP1 (2022年12月)	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	—		
	TS/TR/SR	0件/0件/1件 各種SDOsの検討状況について調査し、調査報告書を作成。【SWG2401】	0件/1件/0件 TR-1096 2020年・2021年の光アクセス関連技術の標準化動向に関する技術報告書	
③ ダウンストリーム	数	TS: 回 TR: 回	TS制定 TR制定:	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	TTCセミナー (2022年4Q) 【SWG共通】	光アクセス関連技術の標準化動向に関するセミナー 開催日時:2023年3月16日(木) 予定	
	記事投稿、講演会	TTCレポート活動報告 【SWG共通】	TTCレポート作成の作成は、2023年3月にセミナー開催のため来年度にずれこむ予定	

中期標準化戦略(2022年度重点取り組みと活動報告)		専門委員会・AG名	光ファイバ伝送専門委員会	
新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	・TR.sdm(SDM技術レポート)新規制定、G.698.2(マルチチャネルDWDM)改訂、並びに関連寄書の投稿(9件) ・JT-L100(地下光ケーブル)新規制定、およびJT-GSup41(海底システムデザインガイドライン)新規制定(2023/2Q予定) ・光線路技術の標準化動向に関するセミナー開催(2023/1Q予定)			
	関連する専門委員会または外部組織とその内容 ・伝送網電磁環境およびアクセス網委員会・物理層IFの連携 ・IEC TC86国内委員・物理層標準の連携			
主な活動項目	概況指標	2022年度目標(当初計画時)	2022年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	—	9件	
	外部会合への参加・連携状況	-ITU-T SG15 WP2 (2022年9月) -IEC TC86国内委員との連携	-ITU-T SG15 WP2(2022年9月会合) -IEC TC86国内委員との情報共有(適時)	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件	0件	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	JT改訂:2件 ・JT-GSup41第1版制定(2022/4Q、SWG2001) ・JT-L100制定(2022/4Q、SWG2002)	JT制定:1件 ・JT-L100制定(2022/4Q予定) ・JT-GSup41(2023/2Q予定に修正)	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	TTCセミナー ・光線路技術の標準化動向など(2022/3Q)	TTCセミナー ・光線路技術の標準化動向(2023/1Q予定に修正)	
	記事投稿、講演会	TTCレポート活動報告	・TTCレポート(2022年9月SG15会合報告)	

中期標準化戦略(2022年度重点取り組みと活動報告)

専門委員会・AG名

国際連携AG(含TSAG対応TF)

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ITU-T TSAG会合(12月)ITU-T新会期における新規研究課題、体制構築およびWTSA決議、Aシリーズ勧告の制改訂に向けた国内議論に着手 FG on Metaverse(FG-MV)設立に関する議論への参加 			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	<ul style="list-style-type: none"> ITU-T次会期研究課題、体制構築を検討のため、関連するSG役職者と連携 			
主な活動項目	概況指標	2022年度目標(当初計画時)	2022年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	TSAG(1件)、GSC(2件)、CJK(2件)	TSAG(1件)	
	外部会合への参加・連携状況	<ul style="list-style-type: none"> ITU-T TSAG会合(10月)に向けて、日本対処方針案策定、日本寄書案作成への協力を行う。 CJK18会合およびGSC23会合に参加し、TTCの最新活動の報告、重点テーマに対するTTC寄書発表を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ITU-T TSAG会合(12月)において、日本対処方針案策定への協力、FG設立に関する寄書審議を実施。 CJK18会合およびGSC23会合は、コロナ禍のため、実施されなかった。 	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件	0件	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	TS: 回 TR: 回	TS制定: TR制定:	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	TTC大使報告会	TTC大使報告会実施予定(2/10)	
	記事投稿、講演会	<ul style="list-style-type: none"> TSAG会合報告 WTSA-20会合報告 CJK18会合報告 GSC-23会合報告 	TSAG会合報告(予定)およびWTSA-20会合報告実施	

中期標準化戦略(2022年度重点取り組みと活動報告)

専門委員会・AG名

技術調査AG

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 新規調査フォーラムの選定にあたっては、企画戦略委員との連携を意識したデジタルツイン関連のDigital Twin Consortium、量子関連のOpenQKD、通信拡張関連のOpenXRを新たに調査対象とした。 また、コネクテッド・カー専門委員会から要望があったデータの標準化を進めているGAIA-X、Catena-Xも対象とした。 			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	<ul style="list-style-type: none"> すべての専門委員会から新規調査フォーラムについての提言を受け付けている。 調査結果について、企画戦略委員会を通じて、各専門委員会へのフィードバックを行った。 			
主な活動項目	概況指標	2022年度目標(当初計画時)	2022年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	なし		
	外部会合への参加・連携状況	なし		
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
	TS/TR/SR			
③ ダウンストリーム	数	なし		
④ プロモーション 普及推進	セミナー	企画戦略委員会中間報告	企画戦略委員会中間報告実施(12/22)	
	記事投稿、講演会	<ul style="list-style-type: none"> フォーラム調査報告書 第29版 TTC Report 投稿 	<ul style="list-style-type: none"> 以下はQ4実施予定 フォーラム調査報告書 第29版 TTC Report 投稿 	

寄書審議状況

専門委員会	寄書数	提案先
マルチメディア応用	10 件	ITU-T SG16(Multimedia)(IPTV, ILE, e-health, アクセシビリティを含む)
コネクテッド・カー	3 件	CITS(Collaboration on ITS Communication Standards), ASTAP
BSG	1 件	ASTAP
IoT・スマートシティ	0 件	ITU-T SG20(IoT, smart cities & communities)
ICTと気候変動 SWG	1 件	ITU-T SG5(Environment and circular economy)
セキュリティ	25 件	ITU-T SG17(Security)
網管理	5 件	ITU-T SG12(Performance, QoS & QoE)
番号計画	2 件	ITU-T SG2(Operational aspects)
信号制御	3 件	ITU-T SG11(Protocols and test specifications)
Network Vision	9 件	ITU-T SG13(Future networks (& cloud))
伝送網・電磁環境	23 件	ITU-T SG15(Transport, access and home), ITU-T SG5(Environment and circular economy)
アクセス網	4 件	ITU-T SG15(Transport, access and home)
光ファイバ伝送	17 件	ITU-T SG15(Transport, access and home)
国際連携 AG	1 件	ITU-T TSAG

TTC 標準の制改定状況

専門委員会名	制改定年月日 (標準化会議)	制改定した標準の番号とタイトル
マルチメディア 応用	2022.5.19 (第 136 回)	JT-H266(新規 第 1 版) 多用途ビデオ符号化方式
		JT-H430.5(新規 第 1 版) 超高臨場ライブ体験(ILE: Immersive Live Experience):ILE 表示 環境の参照モデル
信号制御		JJ-90.27(改定 第 9 版) 着信転送サービス(CDIV)に関する NNI 仕様
		JJ-90.30(改定 第 10 版) IMS 事業者網間の相互接続共通インタフェース
網管理		JT-M3373(新規 第 1 版) クラウドと SDN ベースネットワークの協同管理の要件
伝送網・ 電磁環境		JT-K132(新規 第 1 版) 電気通信設備に設置される照明器具から発生する妨害波に関する電磁環 境適合性要求
		JT-K124(改定 第 2 版) 通信装置の粒子放射線影響の概要
		JT-K130(改定 第 2 版) 通信装置の中性子照射試験法
		JT-K131(改定 第 2 版) 通信装置のソフトウェア対策設計法
		JT-K138(改定 第 2 版) 粒子放射線試験に基づく対策のための品質推定方法とアプリケーション ガイドライン
光ファイバ伝送	JT-G698.1(新規 第 1 版) シングルチャネル光インタフェースを備えたマルチチャネル DWDM アプ リケーション	
	JT-G650.1(改定 第 2 版) シングルモード光ファイバ及びケーブルの線形特性の定義及び試験方法	
信号制御	2023.2.16 (第 139 回)	JF-IETF-RFC4040(新規 第 1 版) 64kbit/s 非制限呼のための RTP ペイロード形式

(1)仕様書の制改定状況

専門委員会	制・改・廃 年月日	概 要	仕様書 (件)		
			新規	改定	廃止
企業ネットワーク	2022.5.12	TS-1023(改定 第 2.2 版) 消防指令システム - 消防救急無線間共通インタフェース仕様	0	1	0
信号制御	2022.5.19	TS-1018(改定 第 7.1 版) CUG/PNP に関するインタフェース技術仕様	0	1	0
	2023.2.28	TS-1025(新規 第 1 版) ISUP 情報のカプセル化に関する技術仕様	1	0	0
3GPP	2022.4.8	Release12~16 TSG プレナリ会合承認分	120	0	0
	2022.7.8	Release14~16 TSG プレナリ会合承認分	94	0	0
	2022.10.7	Release13~17 TSG プレナリ会合承認分	926	0	0
	2023.1.13	Release14~17 TSG プレナリ会合承認分	249	0	0
oneM2M	2023.3.17	Release4 TP57 会合承認分	22	0	0

(2)技術レポートの制改定状況

専門委員会	制・改・廃 年月日	概 要	技術レポート(件)		
			新規	改定	廃止
IoT エリアネットワーク	2022.4.5	TR-1092(新規 第 1 版) HTIP の IoT システム適用に関する実装指針 1~トポロジと機能配置~	1	0	0
		TR-1093(新規 第 1 版) HTIP の IoT システム適用に関する実装指針 2 - ショートフレームにおけるフレーム形式 -	1	0	0
		TR-1064(改定 第 4 版) IoT エリアネットワーク向け伝送技術の概説	0	1	0
	2022.12.6	TR-1082(改定 第 3 版) シングル・ペア・イーサネット通信及び直流給電 方式についての実装ガイドライン	0	1	0
	2023.1.10	TR-1082(改定 第 3.1 版) シングル・ペア・イーサネット通信及び直流給電 方式についての実装ガイドライン	0	1	0
企業ネットワーク	2022.5.12	TR-1095(新規 第 1 版) WebRTC に関する技術報告書	1	0	0
	2022.12.9	TR-1101(新規 第 1 版) WebRTC に関する技術報告書 データ転送 編	1	0	0

コネクテッド・カー	2022.5.19	TR-1097(新規 第1版) 災害時の自動車を用いた情報通信システム (V-HUB)利活用ガイドライン 車両活用防災 システム 概要編	1	0	0
		TR-1098(新規 第1版) 災害時の自動車を用いた情報通信システム (V-HUB)利活用ガイドライン 車両活用防災 システム 運用編	1	0	0
信号制御	2022.5.19	TR-1088(改定 第2.1版) IMS 事業者網間の相互接続共通インタフェー スシーケンス/メッセージ例	0	1	0
AI 活用	2022.7.7	TR-1099(新規 第1版) AI 活用時の説明責任に関する事例調査	1	0	0
アクセス網	2022.9.1	TR-1096(新規 第1版) 2020年・2021年の光アクセス関連技術の 標準化動向に関する技術報告書	1	0	0
伝送網・電磁環境	2022.9.8	TR-1100(新規 第1版) 通信網において GNSS をプライマリ・タイム・ リファレンスとして利用する場合の考慮事項	1	0	0
3GPP	2022.4.8	Release14~16 TSG プレナリ会合承認分	4	0	0
	2022.10.7	Release15~17 TSG プレナリ会合承認分	47	0	0
	2023.1.13	Release16~17 TSG プレナリ会合承認分	4	0	0
oneM2M	2023.3.17	Release4 TP57 会合承認分	7	0	0

(1) 標準類ダウンロード状況(専門委員会別 2022/4-2023/3)

順位	専門委員会	DL回数合計	TOP1	DL回数	TOP2	DL回数	TOP3	DL回数
1	信号制御	21,898	JJ-90.30	3,040	TR-1007	1,987	JT-Q931	1,079
2	伝送網・ 電磁環境	17,770	JT-Y1731	1,262	JT-G709	1,257	TR- G8275.1	1,121
3	マルチメディア ア応用	8,314	JT-T30	1,455	JT-G711	602	JT- H222.0	588
4	企業ネットワ ーク	8,096	TS-1023	1,676	JJ-22.11	920	JJ-21.10	659
5	3GPP	5,274	JP-3GA- 25.323(R 99)	91	TS-3GA- 29.274(R el11)v11.9 .0	90	TS-3GA- 24.501(R el16)v16. 7.0	52
6	光ファイバ伝 送	5,205	TR- Gsup.39	1,110	JT- G694.1	602	JT-G654	494
7	IoT エリア NW	3,749	JJ-300.10	564	JJ-300.20	488	TR-1052	429
8	網管理	3,739	JT-G652	991	TR-1054	667	JJ-201.01	448
9	アクセス網	2,443	TR-1079	1,226	TS-1000	150	JT-G961	147
10	Network Vison	1,827	JT-Y1541	582	JT-X25	280	JT-IETF- RFC2211	111
11	oneM2M	1,726	TS-M2M- 0010v3.0. 1	87	TS-M2M- R3	73	TS-M2M- 0026v3.0 .0	63
12	番号計画	1,087	SR-0067	677	TR-1070	95	JT-E164 Suppleme nt 2	92
13	コネクテッ ド・カー	1,012	TR-1068	897	TR-1097	56	TR-1098	30
14	セキュリティ	834	JT-X1060	619	JT-X1051	120	TR-1000	38
15	移動通信網 MNG	292	JT-Q931- b	51	JP-3GB- N.S0011	39	JT-Q921- b	15
16	AI 活用	231	TR-1099	158	TR-1091	73		
17	IoT・スマー	88	JT-L1410	63	JT-L1200	25		

	トシティ							
18	BSG	67	TR-1058	67				
	合計	85,476						

(2) 標準類ダウンロード状況(TOP20 2022/4-2023/3)

	ドキュメント 番号	最新版制定日	専門委員 会	タイトル	DL回数
1	JJ-90.30	2018/8/29	信号制御	IMS 事業者網間の相互接続共通インタフェース	3,040
2	TR-1007	2003/3/14	信号制御	Session Initiation Protocol(SIP)に関する技術レポート	1,987
3	TS-1023	2020/4/20	企業ネットワーク	消防指令システム-消防救急無線間共通インタフェース仕様	1,676
4	JT-T30	2008/5/29	マルチメディア応用	一般交換電話網における文書ファクシミリ伝送手順	1,455
5	JT-Y1731	2010/2/24	伝送網・ 電磁環境	イーサネットの OAM 機能とメカニズム	1,262
6	JT-G709	2011/3/1	伝送網・ 電磁環境	光伝送網のインタフェース	1,257
7	TR-1079	2019/5/30	アクセス網	第 5 世代移動体通信システムのフロントホールにおける光アクセスに関する技術報告書	1,226
8	TR-G8275.1	2017/12/5	伝送網・ 電磁環境	「ネットワークからフルタイミングサポートでの位相/時刻同期に関する高精度タイム・プロトコルのテレコムプロファイル」の技術レポート	1,121
9	TR-Gsup.39	2017/2/10	光ファイバ伝送	光伝送システムの開発と技術的考察	1,110
10	JT-Q931	1999/4/22	信号制御	ISDNユーザ・網インタフェース レイヤ3仕様	1,079
11	JT-G652	2018/5/24	網管理	シングルモード光ファイバ及びケーブルの諸特性	991
12	JJ-22.11	2016/6/9	企業ネットワーク	企業 SIP 網に接続する SIP 端末⇄サーバ間基本接続インタフェース技術仕様	920
13	TR-1068	2019/10/30	コネクテッド・カー	自動車の遠隔更新技術の標準化動向と実用化課題	897
14	TR-G8275.2	2019/3/1	伝送網・ 電磁環境	「ネットワークから部分タイミングサポートでの位相/時刻同期に関する高精度タイム・プロ	887

				トコルのテレコムプロファイル」の技術レポート	
15	JS-CISPR-35	2020/5/21	伝送網・ 電磁環境	マルチメディア機器の電磁両立性 –イミュニ ティ要求事項–	838
16	JT-I430	2000/2/1	伝送網・ 電磁環境	ISDN基本ユーザ・網インタフェース レイヤ1 仕様	824
17	TR-1003	2002/2/20	伝送網・ 電磁環境	Optical Transport Network(OTN)の インタフェースに関する技術レポート	802
18	JJ-90.27	2022/5/19	信号制御	着信転送サービス(CDIV)に関する NNI 仕 様	691
19	SR-0067	2015/3/6	番号計画	緊急通報用電気通信番号の取り扱いに関す る調査報告書	677
20	TR-1054	2018/6/1	網管理	IP 電話の通話品質測定ガイドライン	667

TTC 主催セミナー・ワークショップ

No.	名称	年月日 (参加者数) (TTC 会員外)	関連専門 委員会等
1	【2022 年度情報通信月間参加行事】 TTC・IOWN Global Forum 共催オンラインセミナー「グローバルパートナーと紡ぐ IOWN の今」	2022.6.10 (759 名) (TTC 会員外 329 名)	企画戦略委員会
2	TTC/CIAJ 共催オンラインセミナー 「災害時の自動車を用いた情報通信システムと防災訓練」	2022.6.28 (163 名) (TTC 会員外 87 名)	コネクテッド・カー
3	【2022 年度情報通信月間参加行事】 TTC オンラインセミナー 『デジタル田園都市国家インフラ整備計画』を支える IoT エリアネットワークの標準化および最新技術動向」	2022.7.27 (216 名) (TTC 会員外 163 名)	IoT エリアネットワーク
4	【2022 年度情報通信月間参加行事】 TTC オンラインセミナー「AI 活用時の説明責任の事例調査」	2022.9.2 (97 名) (TTC 会員外 10 名)	AI 活用
5	【2022 年度情報通信月間参加行事】 TTC オンラインセミナー「企業・組織に関するセキュリティ対策の標準化、最新技術動向 ～サイバーディフェンスセンターについて～」	2022.9.9 (115 名) (TTC 会員外 55 名)	セキュリティ
6	【2022 年度情報通信月間参加行事】 TTC・日本 OMG 共催オンラインセミナー「Digital Twin の活用と標準化最前線」	2022.10.7 (357 名) (TTC 会員外 181 名)	IoT・スマートシティ
7	【2022 年度情報通信月間参加行事】 TTC オンラインセミナー「遠隔医療のアクセシビリティに関する最新標準技術動向」	2022.10.14 (129 名) (TTC 会員外 82 名)	業際イノベーション本部
8	NICT(量子セキュリティ拠点)・TTC・量子 ICT フォーラム共催 量子セキュリティ合同シンポジウム 2022 「量子が拓く未来の産業」	2022.10.25 (594 名) (TTC 会員外 406 名)	企画戦略委員会

9	TTC オンラインWorkshop「第3回ITU AI/ML in 5G Challenge 日本ラウンド受賞者によるAI活用研究の発表について」	2022.11.11 (72名) (TTC 会員外 23名)	Network Vision
10	IPSJ・TTC 共催オンラインセミナー 「脳情報・BMI と将来のマシンインタフェース」	2023.1.18 (591名) (TTC 会員外 466名)	企画戦略委員会
11	TTC・W3C 共催オンラインセミナー 「Web ベースのデジタルツイン標準化、最新技術動向」	2023.1.24 (350名) (TTC 会員外 185名)	IoT・スマート シティ
12	標準化人材育成オンラインセミナー 「国際標準化活動の最新動向」	2023.1.31 (132名) (TTC 会員外 77名)	受託案件
13	ICT ビジネス戦略オンラインセミナー 「デジュール及びフォーラム標準に関する国際標準化活動動向調査」(第一回)	2023.2.3 (103名) (TTC 会員外 61名)	受託案件
14	TTC 会員限定 「菊地・三宅 TTC 大使報告会」	2023.2.10 (19名) (TTC 会員限定)	国際連携 AG
15	ICT ビジネス戦略オンラインセミナー 「デジュール及びフォーラム標準に関する国際標準化活動動向調査」(第二回)	2023.2.15 (136名) (TTC 会員外 72名)	受託案件
16	TTC オンラインセミナー 「Safe Listening 4:ずっといい音を聴いていたい」	2023.3.3 (104名) (TTC 会員外 84名)	マルチメディア 応用
17	TTC セミナー「デジタルエコシステムに向けたネットワークオペレーション自動化に関する最新動向」	2023.3.8 (137名) (TTC 会員外 63名)	網管理
18	TTC オンラインセミナー 「光アクセス関連技術の最新標準化動向」	2023.3.16 (161名) (TTC 会員外 77名)	アクセス網

別紙 7-2

他機関主催セミナー・ワークショップへの後援・協賛

No.	名称	年月日	主催	種別
1	HATS セミナー2022	2022.4.20	HATS フォーラム	協賛
2	デジタルツインフォーラム 2022	2022.4.27	一般社団法人日本OMG	後援
3	第 54 回世界情報社会・電気通信日の つどい	2022.5.17	一般財団法人日本 ITU 協会	後援
4	Virtual IVSM 2022 Spring	2022.5.23 ~27	一般社団法人日本インダスト リアルイメージング協会	共催
5	連続セミナー2022「その先へ 情報技 術が貢献できること」	2022 年 6 月 から 12 月にか けて全 12 回シ リーズで開催	一般社団法人情報処理学会	協賛
6	ITU 主催 AI / ML in 5G チャレンジ 日本ラウンドのオンラインセミナー:「機 械学習に関する招待講演と日本版 5G チャレンジ課題の説明」	2022.8.24	ITU	後援
7	JAPAN Security Summit2022	2022.10.24 ~11.6	JAPANSecuritySummit 2022 実行委員会	共催

別紙 7-3

展示会等への後援・出展

No.	名称	年月日	開催場所	種別
1	ワイヤレス・テクノロジー・パーク(WTP) 2022	2022.5.25~27	東京ビッグサイト	後援
2	ワイヤレスジャパン 2022	2022.5.25~27	東京ビッグサイト	後援
3	Interop Tokyo 2022	2022.6.10~17	幕張メッセ	後援

2022 年度受賞者一覧

1 情報通信技術賞 総務大臣表彰

- (1)「通信品質技術の国際標準化及びIP電話サービスの普及への貢献」
 国立研究開発法人理化学研究所(元 日本電信電話株式会社) 高橋 玲 殿
- (2)「サイバーセキュリティに関する国際標準化への貢献」
 国立研究開発法人情報通信研究機構(元 KDDI株式会社) 中尾 康二 殿

2 情報通信技術賞 TTC 会長表彰

- (1)「IMS事業者間接続インタフェース仕様に関する国際・国内標準仕様の整合性確保にかかわる功績」
 エヌ・ティ・ティ・アドバンステクノロジー株式会社 井上 芳洋 殿
- (2)「音声・オーディオ符号化及びマルチメディアに関する標準化にかかわる功績」
 日本電気株式会社 芹沢 昌宏 殿
- (3)「映像符号化の研究開発・標準化及び実用化にかかわる功績」
 KDDI株式会社 滝嶋 康弘 殿
- (4)「W3C及びFIDOにおけるパスワード課題を解決する認証に関する国際標準化及びその普及推進にかかわる功績」
 株式会社NTTドコモ 森山 光一 殿

3 功 労 賞

- (1)「アクセス網システムに関する標準化活動にかかわる功績」
 日本電信電話株式会社 浅香 航太 殿
- (2)「電気通信番号に関する標準化の推進にかかわる功績」
 KDDI株式会社 井上 統之 殿
- (3)「AI活用における品質・信頼性・説明責任に関する事例調査にかかわる功績」
 日本電気株式会社 岩崎 順子 殿
- (4)「通信装置のソフトエラー対策に関する標準化活動にかかわる功績」
 富士通株式会社 岡川 宏 殿
- (5)「コネクテッド・カーに関する標準化活動にかかわる功績」
 慶應義塾大学 川嶋 弘尚 殿
- (6)「HD-PLCに関する標準化活動にかかわる功績」
 パナソニック ホールディングス株式会社 川畑 直弘 殿
- (7)「自動車の遠隔更新技術関連報告書策定にかかわる功績」
 元 富士通株式会社 小谷 誠剛 殿

- (8)「伝送網の装置機能及び保護・復旧に関する標準化の推進にかかわる功績」
三菱電機株式会社 小西 良明 殿
- (9)「通信装置のソフトエラー対策に関する標準化活動にかかわる功績」
元 日本電信電話株式会社 三瓶 健 殿
- (10)「OTNインタフェースに関する標準化活動にかかわる功績」
日本電信電話株式会社 新宅 健吾 殿
- (11)「PSTNマイグレーションに関するIMS事業者網間の標準シーケンス/メッセージ例策定にかかわる功績」
東日本電信電話株式会社 高瀬 琢磨 殿
- (12)「標準化格差是正(BSG)に関する標準化活動にかかわる功績」
トヨタ自動車株式会社 土居 義晴 殿
- (13)「光ファイバケーブルに関する標準化活動にかかわる功績」
通信電線線材協会 平船 俊一郎 殿
- (14)「コネクテッド・カーに関する標準化活動にかかわる功績」
慶應義塾大学 福井 良太郎 殿
- (15)「IoT・スマートシティに関する標準化活動にかかわる功績」
株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所 三上 雄一郎 殿

III. 附属明細書

2022 年度事業報告には、事業報告の内容を補足する重要な事項は特にないので、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書として記載すべき事項はなし。